

かわせみ



Hachioji
Kawasemikai

Kawasemi



'90 Kambai

1994. 2 No. 12

八王子カワセミ会・発行

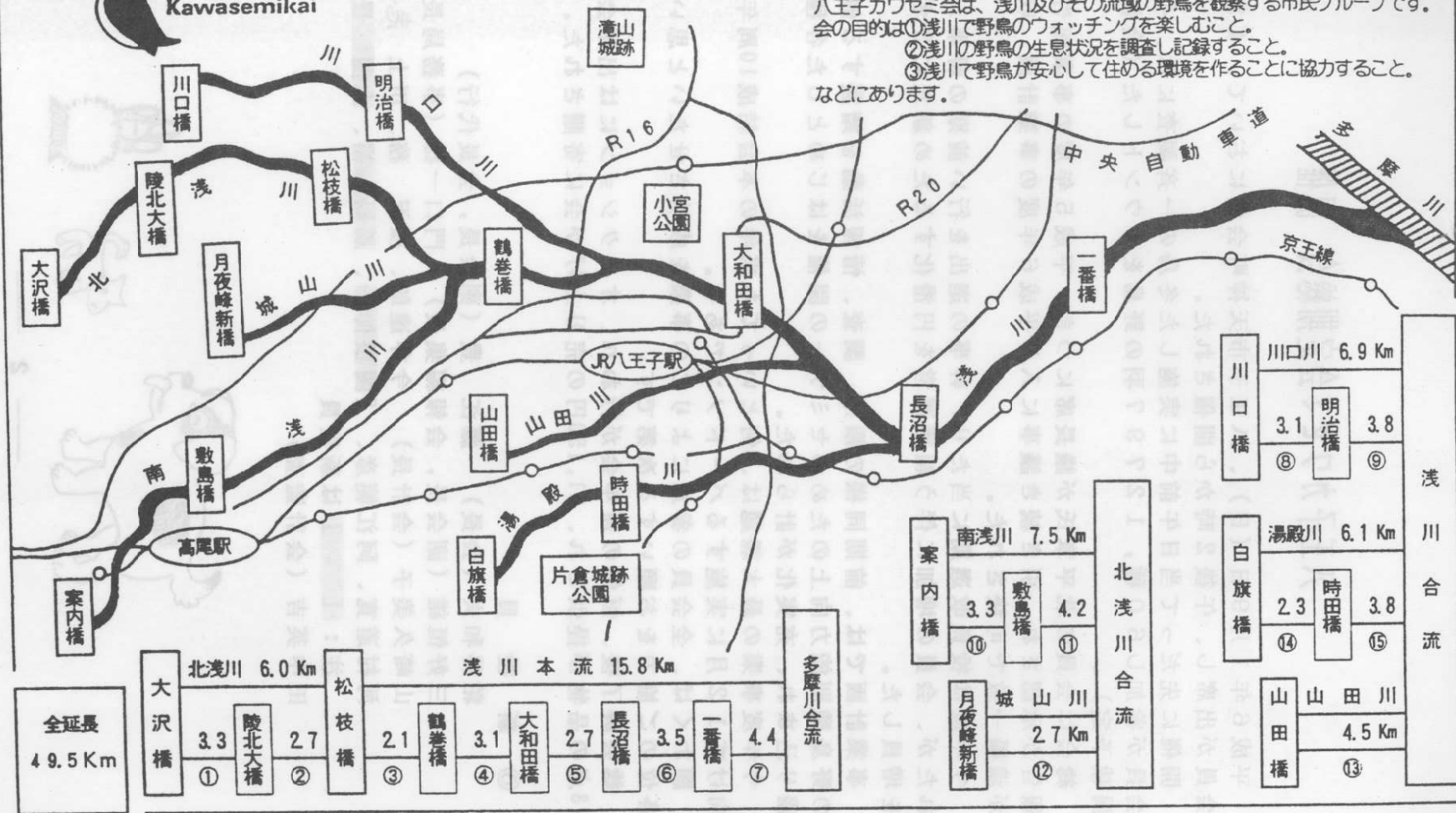
目次

	ページ
☆ 八王子カワセミ会総会開催	2
☆ 1993年八王子カワセミ会10大ニュース	3
☆ 平成5年の定期・定点カウント記録	4
☆ 鳥信	23
☆ 平成5年イワツバメ営巣調査結果	32
☆ 庭に来る野鳥調査結果	34
☆ ハクセキレイの集団ねぐら	36
☆ 東浅川のヒメアマツバメ	37
☆ 川口川のサギのコロニー	38
☆ 片倉城址公園の巣箱状況	39
☆ タカの渡りのルートが八王子にもあった	41
☆ バードソン予行演習の実施結果	43
☆ 浅川に「ワンド」が戻った	45
☆ 昨年1年間に見た野鳥	46
☆ ウォッチング・コーナー	47
◇ 霜日和	川上 美穂子
◇ 夕涼み探鳥会	駒澤 純
◇ 10月定例探鳥会	三富 恒男
◇ 丹沢方面探鳥会に参加して	志村 進
◇ 二度目のバードウォッチング	今村 和子
◇ 谷津干潟・三番瀬探鳥会	加藤 岸男
◇ バードソン体験記	馬場 裕
◇ 鳥島のアホウドリ	今村 和子
◇ 鳥二題	小助川千恵子
◇ 93年鳥バカの記録	大関 豊
◇ 感動、そして憤慨	清水 茂
◇ 駒ヶ根支部通信	平沢 辰夫
◇ 野鳥雑詠	飯島 洋子
☆ 編集後記	編集長(T・M) 63

八王子カワセミ会の主な活動範囲 位置図



八王子カワセミ会は、浅川及びその流域の野鳥を観察する市民グループです。
 会の目的は①浅川で野鳥のウォッチングを楽しむこと。
 ②浅川の野鳥の生息状況を調査し記録すること。
 ③浅川で野鳥が安心して住める環境を作ること協力すること。
 などにあります。



八王子カワセミ会定期総会 開催

平成6年1月9日(日)、八王子市天神町会館において、42名の会員が出席し、午後2時から開催された。

開催に先だって当日午前中に実施した冬鳥の一斉調査には、40名の会員が参加し60種、12797羽の野鳥をカウントした(会報次号に掲載予定)。

総会は会員の北平章氏が議長席につき、平成5年度の事業報告、会計報告が承認され、引き続き議事に入り平成6年度の事業計画、収支予算が満場一致で可決された。

今年度は役員改選期に当たり、幹事の選出を行い前期の幹事が再選されたが、会員の増加に伴う組織運営を円滑化するため新たに3名の幹事を増員した。

事業計画では、前期同様の観察、調査、情報活動を踏襲する他、会員の野鳥識別能力向上のためのセミナーの開催をはじめとした各種企画が盛り込まれ、充実化が計られた。

今年度事業の最大課題は、何といたっても来年の本会結成10周年記念に向けて12月に実施するバードソンである。

願わくば、全会員の参加によりこの事業を成功させたいと思います。各位のご協力をお願いする次第です。

総会終了後、恒例の新年会が行われ、オークションには出席会員から78点の品物が提供され、61,150円の売り上げが会に寄贈された。

◎ 新 役 員

粕谷和夫(会長) 藤江 豊(副会長, 会長代行)

三好恒雄(副会長, 会報編集長) 門口一雄(事務局長)

山崎久美子(会計長) 今井達郎、榛沢 務、川上 志、

河村道寛、阿江範彦、**[関根伸一]**、**[馬場 裕]**、**[大関 豊]**

注：**[]**は新役員

田中英吉(会計監査)





1993年八王子カワセミ会10大ニュース

1. サシバの秋の渡りルート発見
9月26日、八王子市の内丘陵、山頂等4カ所で一斉調査を行い、滝山城跡かか八王子城跡、小仏峠、相模湖方面に向かう100羽のサシバを観察した。
2. 寺沢川の河川改修等で多自然型川作りを八王子市に要望
八王子市が行う寺沢川の河川工事については、建設省が推進している多自然型川作りの考え方に沿って行われるよう、1月11日八王子市長に要望書を提出、同時に八王子市元横山町、田町に接する浅川右岸側の河川敷のアシ原が八王子市公園課により芝生に変えられた件についても多自然型川作りの精神に基づき見直すことを要望した。
3. バードソンの予行演習を実施
八王子カワセミ会10周年記念事業として行うバードソン本番の1年前の12月5日に八王子市、日野市域で9チームに分かれ、一斉バードウォッチングを行った。
4. TAMAらいふ21事業の関連事業に協力
①浅川流域身近な自然の散策絵図の作成。
②5月9日八王子グリーンフェスティバル(富士森公園)。
③5月16日八王子ふるさとヘルシーウォーキング(鶴巻橋付近)。
④8月24日水郷水都全国会議多摩大会等に協力した。
5. カンムリカイツブリ他稀少種の出現
タゲリ(2月)、ケリ(5月)、カンムリカイツブリ(5~8月)、ヨシゴイ(9月)、アカエリカイツブリ(10月)、シラガホオジロ(10月)、イソヒヨドリ(12月)等の浅川における稀少種が出現した。
6. カオグログビチョウ定期カウントでも記録
4月に浅川の松枝橋下流側で3羽を観察された他、9月の北浅川(大沢橋~陵北大橋)定期カウントで2羽を観察、写真撮影にも成功した。
7. アマチュア無線の利用拡大
アマチュア無線を開局している会員が7名になり、サシバの渡り調査、出会い探鳥会、水郷水都全国会議多摩大会支援野鳥観察会等複数の場所で同時に活動する場合の連絡に威力を発揮した。
8. 片倉城跡公園にキツツキねぐら用巣箱を架設
同公園に'89年以来シジュウカラ用巣箱を架け、毎年その管理と利用状況を調査しているが、12月の巣箱清掃・利用状況調査時に新たにアオゲラ向けの底無しねぐら用巣箱を2個架設した。
9. 八王子市川口地区でオオタカが繁殖
同地区天合峰でオオタカの営巣が確認された。
10. 日本野鳥の会東京支部報で本会の活動を紹介
「ユリカモメ」10月号の地域シリーズ欄で毎月の探鳥会や野鳥の定期カウントの実施状況等を紹介した。



平成5年の定期・定点カウント記録

1. 北浅川：大沢橋～陵北大橋

報告：今井 達郎

1993年 月/日 開始 時:分 終了 時:分 天気 (前後) 関根A 馬場B 小池C	1/10 8:07 1108 薄曇 前田	2/06 8:05 1205 快晴 A B	3/06 8:10 1230 快晴 馬場	4/04 7:40 1200 曇 A B	5/01 7:30 1300 曇 馬場	6/12 7:30 1130 晴 A B	7/01 9:10 1215 曇	8/07 8:20 1200 曇 馬場	9/11 7:30 1130 曇晴 A B	10/9 7:30 1100 快晴 関根	11/7 7:30 1140 曇 馬場	12/5 7:00 1100 晴曇 A C
1 052 ゴイサギ											2	
2 059 コサギ		4	4	12	5	9	7				3	4
3 087 マガモ											7	2
4 088 カルガモ		27	28	41	37	13	29	5	5	10	41	40
5 089 コガモ		19	10	25	14	4					19	11
6 120 トビ							3			1		
7 123 オオタカ			1						2	1	1	1
8 125 ツミ						1						
9 149 コジュケイ	3	1		5	2			1	1		4	1
10 151 キジ		2	2	4	5	1				1	1	
11 176 コチドリ				2								
12 177 イカルチドリ	2	3			1							
13 218 イソシギ		1										
14 245 ユリカモメ	3											
15 296 キジバト	19	16	11	18	20	6	12	21	16	14	26	8
16 304 ホトトギス						1						
17 319 ヒメアマツバメ					6							
18 320 アマツバメ					1							
19 321 ヤマセミ			1									
20 326 カワセミ	3	1	1	3	1	1		1	1		1	2
21 331 アオゲラ										2		
22 336 アカゲラ			1									
23 339 コゲラ			2	5	6	1		1			5	3
24 347 ツバメ	2			4	46	47	41	30				
25 350 イワツバメ					7			12				
26 354 キセキレイ	5	1	3	17	16	13	2	3	2	2	13	7
27 355 ハクセキレイ	3	4	6	5	3	1			1	2	5	6
28 356 セグロセキレイ	18	16	11	11	21	19	9	9	6	12	20	11
29 360 ビンズイ			1									
30 363 タヒバリ	3	2	1									
31 367 ヒヨドリ	21	15	14	39	47	40	31	22	26	56	46	23
32 369 モズ	2	6	11	2		1	1	1	3	11	5	3
33 387 ジョウビタキ	5	1		1							3	3
34 400 アカハラ					2							
35 402 シロハラ		1			1							
36 405 ツグミ	11	16	8	14								7
37 409 ヤブサメ					1							
38 410 ウグイス	1		1	9	9	8	10	5			2	3
39 430 オオルリ					1							
40 435 エナガ											1	

21	245	ユリカモメ	21	29	5									32
22	246	セグロカモメ	2											
23	296	キジバト	17	14	5	15	8	21	6	17	10	10	11	30
24	319	ヒメアマツバメ					2							
25	326	カワセミ	5	2	6	4	1	7	1	1	2	3	3	4
26	331	アオゲラ						1				1		
27	339	コゲラ	4	3	1						3	1		2
28	344	ヒバリ						1						1
29	347	ツバメ				24	25	71	31	70		3		
30	350	イワツバメ						3		5				
31	354	キセキレイ	6	1	4	2	1	3	1	1	2	7	9	3
32	355	ハクセキレイ	9	1	9	2	2					1	2	10
33	356	セグロセキレイ	27	28	13	9	13	28	12	3	15	22	19	20
34	363	タヒバリ	4	3		2								1
35	367	ヒヨドリ	17	4	3	27	20	70	29	45	24	15	35	52
36	369	モズ	6	2	6	4	1	2			3	13	6	3
37	387	ジョウビタキ	3	3	1								5	3
38	405	ツグミ	15	16	22	35								16
39	410	ウグイス	4		2	6	4		2	3			1	6
40	416	オオヨシキリ					1							
41	425	セッカ							1					
42	441	シジュウカラ	36	40	9	7	7	18	14	3	8	3	5	5
43	444	メジロ		5										
44	449	ホオジロ	106	64	65	24	11	6	6	5	33	11	55	82
45	455	カシラダカ	20	21	5								3	30
46	461	アオジ	36	21	8	12							17	6
47	471	カワラヒワ	360	130	136	7	5	7	3	9	23	26	62	336
48	485	イカル						1						
49	486	シメ	15	23	4	3							3	9
50	488	スズメ	223	60	41	55	88	253	90	40	77	193	190	420
51	493	ムクドリ	48	26	27	37	40	26	24	33	105	45	83	71
52	498	オナガ	20				1	8	10	4	18		18	
53	503	ハシボソガラス	30	7	14	5	15	21	16	6	16	63	17	28
54	504	ハシブトガラス	15	7	7	8	6	4	13	5	13	22	12	10
55	A	アヒル										1	1	1
56	B	ドバト	59	33	45	22	15	100	37	55	55	22	10	41
		種類合計	36	31	32	27	28	27	24	21	22	23	28	37
		出現総羽数	1296	676	526	362	318	699	345	325	448	537	648	1358

3. 浅川：松枝橋～鶴巻橋

報告：大関・福島・小池・清水

1993年	月/日	1/10	2/21	3/28	4/25	5/23	6/20	7/18	8/22	10/2	1024	1123	1223
開始	時:分	8:00	8:00	7:00	8:30	7:00	7:00	7:00	6:00	6:15	7:00	7:00	7:00
終了	時:分	11:00	1130	1045	1130	1020	1000	1030	9:10	1000	1025	1100	1040
天気	(前後)	曇晴	曇	曇	晴	晴	晴	雨	曇	晴			晴
調査報告者		大関	福島	福島	福島	福島	福島	福島	福島	小池	福島	清水	福島
福島A	清水B	小池C	ABC	BCD	BC	BC	清水	福島	清水		BCD	CD	BC
北平D	大関E	中村F	熊倉	北平	大関	北平	大関	北平	北平		福井	福井	福井

1	040	カワウ	3	1	15												107
2	052	ゴイサギ					1	5	2	2	5	4	2				6
3	054	ササゴイ					1		1	2							
4	056	アマサギ					1			1							
5	057	ダイサギ	2	2	3								2				4
6	059	コサギ	8	11	47	10	8	5	3	8	7	9	23				32
7	062	アオサギ			1	13											
8	087	マガモ	2	5									3				9
9	088	カルガモ	43	56	40	43	17	38	17	28	24	32	27				24
10	089	コガモ	90	15	21							29	36				55
11	093	ヒドリガモ	2														
12	095	オナガガモ	14	10									11				8
13	120	トビ	1	1	4		1	1		1	1						2
14	123	オオタカ		2													
15	149	コジュケイ			1	1				1							
16	151	キジ		1		3	6	2	3							3	
17	176	コチドリ									3						
18	177	イカルチドリ		2	1		5	2	1								
19	217	キアシシギ					2			3							
20	218	イソシギ	2	3	3	2	4		2	1	2	7	4				4
21	245	ユリカモメ	22	14	33											40	32
22	246	セグロカモメ															3
23	296	キジバト	20	13	10	9	11	15	9	10	8	13	19				17
24	326	カワセミ	2	4	2	1	2	1	2	1			2				
25	339	コゲラ		4	1	1	1	3		4		3	1				1
26	344	ヒバリ		3	3	3	5	7	1								
27	347	ツバメ			6	24	12	32	9	20	5						
28	350	イワツバメ			5	20	10	13	4	5							
29	354	キセキレイ	4	2	4			2	3	5	8	3	4				
30	355	ハクセキレイ	11	4	6	2	1		2	2	4	9	7				7
31	356	セグロセキレイ	16	15	8	9	1	3	3	6	15	18	15				12
32	363	タヒバリ	6	2	4												
33	367	ヒヨドリ	12	7	14	17	11	23	8	6	7	29	33				20
34	369	モズ	4	3	4	3	1				6	5	5				4
35	373	キレンジャク			1												
36	387	ジョウビタキ	2	3								1	3				1
37	405	ツグミ	17	21	18	13							3				10
38	410	ウグイス	1		5	3							3				3
39	416	オオヨシキリ					6		4	2							
40	425	セッカ				2	1	2	4	5							
41	441	シジュウカラ	12	11	20	3	12	12	4	4	5	12	5	16			20
42	444	メジロ						4				4	1				
43	449	ホオジロ	30	7	11		1			1		2	4				10
44	455	カシラダカ	27	4									1				2
45	461	アオジ	20		2								2				8
46	464	オオジュリン		2													3
47	471	カワラヒワ	190	200	30	3	4	4	5	2	26	67	56				127
48	486	シメ	3										1				1
49	488	スズメ	230	250	70	200	150	160	100	150	172	150	350				180

50	493	ムクドリ	72	30	30	22	32	67	40	28	40	10	12	23
51	498	オナガ					8		2		3		10	
52	503	ハシボソガラス	6	19	3	6		4	6	8	4	6	10	7
53	504	ハシブトガラス	40	23	6	8	4	7	10	2		14	7	9
54	B	ドバト	83	35	53	18	17	25	10	70		25	83	52
55		レース鳩									60			
56	K	ベニスズメ						2						
種類合計			33	35	34	27	27	25	26	28	21	22	34	33
出現総羽数			997	785	480	426	344	436	264	378	454	445	799	803

4. 浅川：鶴巻橋～大和田橋

報告：榛沢 務

1993年	月/日	1/29	2/24	3/19	4/17	5/12	6/25	7/28	8/24	9/27	10/22	11/24	12/18
開始	時:分	8:10	8:00	8:00	8:00	8:15	7:40	8:00	8:10	8:00	8:10	8:00	8:00
終了	時:分	10:45	10:50	11:00	10:50	11:00	10:20	10:30	10:40	10:45	10:55	10:45	11:55
天気	(前後)	晴	晴	晴	薄曇	晴	曇	曇晴	曇晴	晴	晴	晴	晴
1	008	かみりカイツブリ				1	1						
2	040	カワウ	1	7	12							300	200
3	052	ゴイサギ					7	13	21	13	11	2	
4	054	ササゴイ				1	3	1	7	1			
5	057	ダイサギ	3	6	8	6	2	1				3	2
6	059	コサギ	13	17	21	13	9	9	8	9	11	10	18
7	062	アオサギ										1	
8	087	マガモ	4									2	1
9	088	カルガモ	153	146	112	85	103	141	87	126	163	169	129
10	089	コガモ	107	92	117	72					16	62	54
11	093	ヒドリガモ	29	47	54							7	43
12	095	オナガガモ	116	108	86							42	78
13	120	トビ	2	3	1	1	1	2	1	1	3	2	2
14	151	キジ				1	3	3				1	1
15	176	コチドリ					1						
16	177	イカルチドリ				1	1			3	3		
17	217	キアシシギ						3	3				
18	218	イソシギ	1	3	2	5	1	1	2	2	2	1	1
19	245	ユリカモメ	102	83	140							90	87
20	246	セグロカモメ										1	
21	296	キジバト	11	16	11	13	7	10	7	7	14	11	6
22	319	ヒメアマツバメ	6										
23	326	カワセミ	1	1	1	1	2					1	1
24	344	ヒバリ		3	4	3	3	2	3		1		
25	347	ツバメ				8	27	31	26	7			
26	350	イワツバメ				6	18	17	13				
27	354	キセキレイ	1	1		4	1	1		1		3	1
28	355	ハクセキレイ	8	9	8	13	4	3	2	5	2	6	12
29	356	セグロセキレイ	17	22	14	11	7	5	8	16	3	10	10
30	363	タヒバリ	6	5	6	1							4
31	367	ヒヨドリ	7	4	3	3	2	11	12	11	5	23	3

32	369	モズ	3	1	1	1	1				2	3	2	
33	387	ジョウビタキ	1		2									1
34	405	ツグミ	18	16	9	16								4
35	410	ウグイス			2									
36	416	オオヨシキリ					4	8	1					
37	425	セッカ							1	1				
38	444	シジュウカラ		4	3	6	2	2	2	2		1		1
39	449	ホオジロ	11	16	7									5
40	455	カシラダカ	5	5	15									
41	461	アオジ	2	2		1								1
42	471	カワラヒワ	83	73	12	7	5	13	3	5	35	23		64
43	488	スズメ	186	174	196	140	170	135	130	160	205	200	210	240
44	493	ムクドリ	67	62	73	73	43	72	7	3	4	7	10	3
45	498	オナガ						3	2		3			
46	503	ハシボソガラス	7	11	9	3	8	7	7	7	6	5	3	2
47	504	ハシブトガラス	3	3	5	5	2	4	3	2	2	2	2	3
48	B	ドバト	63	68	78	93	67	75	63	70	75	105	105	130
49	C	セキセイインコ			1									
50	K	ベニスズメ					1							
51	N	ブンチョウ	1											
		種類合計	31	30	30	28	28	25	24	21	21	23	26	29
		出現総羽数	1037	1008	1012	592	496	566	403	466	569	753	1052	1215

5. 浅川：大和田橋～長沼橋 報告：川上・小山C・湯原D・竹沢E

1993年 月/日	1/10	2/13	3/20	4/10	5/22	6/18	7/23	8/24	9/17	10/18	11/24	12/24
開始 時:分	8:00	7:30	9:00	7:30	7:30	7:45	8:30	7:40	8:30	8:00	9:00	8:50
終了 時:分	1230	1130	1200	1100	1130	1115	1100	1030	1140	1130	1200	1130
天気 (前後)	ACDE	快晴	雨曇	晴	曇	曇	曇	晴	晴	晴	快晴	晴
門口A 小笠原B三富F	ACDE	ABF	雨曇	門口	曇	曇	曇	晴	晴	晴	快晴	晴
1	040	カワウ	56	9		13					40	60
2	052	ゴイサギ				2			5	2	2	
3	054	ササゴイ				1	7		2			
4	057	ダイサギ	17	6	3	8	1	2		1	2	12
5	059	コサギ	6	6	12	23	4	6	4	7	10	6
6	062	アオサギ	1	1								4
7	087	マガモ										2
8	088	カルガモ	61	64	46	80	60	70	48	35	70	90
9	089	コガモ	372	348	230	201					14	26
10	092	オカヨシガモ	3								95	110
11	093	ヒドリガモ	51	54	48	25						8
12	095	オナガガモ	209	197	67	2					2	26
13	097	ハシビロガモ	30	27	24							8
14	104	キンクロハジロ	2									
15	120	トビ		1	1				1	1	2	1
16	123	オオタカ										
17	145	チョウゲンボウ	2	1							1	1
18	151	キジ	1	1	1	2	4	5	1			

19	176	コチドリ					5										
20	177	イカルチドリ	2	10	5	1	3	6	12	2	3	7	5	3			
21	217	キアシシギ					3										
22	218	イソシギ	10	3	6	13	4	11	4	5	3	3	6	7			
23	230	タシギ	2	1	1												
24	245	ユリカモメ	96	10	25								90	150			
25	246	セグロカモメ	6		6	5											
26	296	キジバト	31	21	24	20	25	23	23	28	18	25	18	26			
27	302	カッコウ						1									
28	326	カワセミ	1						1		1	1		1			
29	339	コゲラ	4	2		2	2			1		2	1				
30	344	ヒバリ	2	4	2	7	7	7	2								
31	347	ツバメ				17	25	40	34	32	6	4					
32	350	イワツバメ						4									2
33	354	キセキレイ	3	4	2	1		1									
34	355	ハクセキレイ	27	24	17	9	4	3	4	5	4	8	12	22			
35	356	セグロセキレイ	37	10	11	12	3	4	2	3	3	2	6	26			
36	363	タヒバリ	47	27	26	27							9	13			
37	367	ヒヨドリ	20	10	22	10	20	25	28	21	5	22	23	25			
38	369	モズ	5	6	2	2	4		1		2	3	2	4			
39	387	ジョウビタキ	4	4									1	1			
40	388	ノビタキ										2					
41	400	アカハラ				1											
42	405	ツグミ	40	37	33	28											3
43	410	ウグイス	1	1	1												2
44	416	オオヨシキリ					3	4	1								
45	425	セッカ				2	5	4	5	2	1						
46	441	シジュウカラ	17	17	14	2	6	3	2	2	2	5	2	12			
47	444	メジロ												6			
48	449	ホオジロ	17	34	17								5	15			
49	455	カシラダカ	8											7			
50	461	アオジ	24	18	13	10							2				
51	471	カワラヒワ	201	70	18	5	5	21	4	3	35	40	14	16			
52	486	シメ	2	2	2												
53	488	スズメ	354	510	350	290	270	260	230	280	250	280	230	220			
54	493	ムクドリ	93	70	60	50	25	50	27	60	50	50	45	35			
55	498	オナガ	4				2	7	5	7	25	5					
56	503	ハシボソガラス	49	8	5	9	4	12	6	4	2	2	3	3			
57	504	ハシブトガラス	24		7		6	8	8	8	4	6	55	15			
58	A	アヒル	2	2	2	1	2										
59	B	ドバト	43	35	37	12	25	45	18	68	15	25	25	48			
		種類合計	44	38	35	33	28	27	26	22	25	27	32	37			
		出現総羽数	1987	1655	1140	892	528	630	476	577	533	622	827	1020			

6. 浅川：長沼橋～一番橋

報告：山崎悠一・久美子A

1993年 月/日		1/10	2/11	3/13	4/10	5/16	6/12	7/18	8/13	9/15	10/9	11/20	12/11
開始	時:分	7:55	8:15	8:15	8:15	7:45	7:40	9:05	7:25	7:15	7:35	7:25	7:35
終了	時:分	1105	1135	1050	1120	1045	1120	1250	9:55	1135	1120	1035	1215
天気	(前後)	曇晴	曇	快晴	晴	晴	晴	小雨	曇	晴	快晴	曇	晴
協力：熊坂B 小笠原C		ABC	A	A	A	A	A	A	明德	A	A	A	A
1	005 カイツブリ	3											1
2	040 カワウ	6	3	2	5	1						19	64
3	052 ゴイサギ					3	5	8	6	7	2	2	
4	054 ササゴイ									1			
5	057 ダイサギ	3	7	4						1	3	8	5
6	059 コサギ	5	14	8	6	4	6	5	9	11	10	26	20
7	062 アオサギ									1		1	1
8	069 クロトキ			6	3								
9	088 カルガモ	61	80	105	50	31	63	32	29	42	102	87	40
10	089 コガモ	213	276	380	300	1					98	92	127
11	092 オカヨシガモ		4	2									2
12	093 ヒドリガモ	95	59	90	16						6	52	82
13	095 オナガガモ	82	186	80							4	45	57
14	097 ハンビロガモ	16	26	11	2							2	3
15	115 ミコアイサ		4										
16	120 トビ												1
17	145 チョウゲンボウ			1									
18	149 コジュケイ				1		1			1			
19	151 キジ					4		1	1				
20	176 コチドリ					4	2	8					
21	177 イカルチドリ	2	1	2	2	2		3		4	7	1	2
22	217 キアシシギ					10			1				
23	218 イソシギ		3	1	4	7	3	3	3	8	12	3	3
24	230 タシギ												1
25	245 ユリカモメ	196	51	5	2							140	178
26	246 セグロカモメ		2		4							4	12
27	251 ウミネコ			7									3
28	296 キジバト	11	6	1	1	7	10	14	15	16	4	6	11
29	326 カワセミ				2	1		1		1	1		1
30	339 コゲラ									1			1
31	344 ヒバリ		1	1	5	4	4	1					
32	347 ツバメ				20	37	40	56	31	11			
33	350 イワツバメ				25	40	40	17	4				
34	354 キセキレイ	6			2	1	1	1		3	1		3
35	355 ハクセキレイ	19	12	8	2	1	3	1		4	12		20
36	356 セグロセキレイ	11	5	8	5	2	2	5	5	3	5		16
37	363 タヒバリ	5	6	4	11							4	4
38	367 ヒヨドリ	18	8	2	11	4	20	34	13	5	11	7	19
39	369 モズ	2	2							1	4	2	1
40	387 ジョウビタキ	1	2									1	1
41	405 ツグミ	12	19	8	10								3
42	410 ウグイス		1		1								1
43	416 オオヨシキリ					1							

44	425	セッカ				8	6	8	6	2				
45	441	シジウカラ	3	3	1	1	6	3		2	3	2	1	
46	444	メジロ	2							3	3		4	
47	449	ホオジロ	8	14	17	4	1	3		2	2	5	12	
48	455	カシラダカ			2	1								
49	461	アオジ	2	2	1	5						3	2	
50	471	カワラヒワ	172	118	25	20	3	12	33	11	28	20	41	103
51	488	スズメ	151	208	60	100	45	70	85	92	220	103	290	288
52	493	ムクドリ	45	25	20	25	20	55	13	1	37	17	199	20
53	498	オナガ	5					4	2	2	4			28
54	503	ハシボソガラス	64	14	25	15	8	15	31	9	30	13	24	14
55	504	ハシブトガラス	28	4	2	1	2	2			1	2	3	1
56	A	アヒル	1	1	1	3	2	1			1	1	2	2
57	B	ドバト	63	130	67	30	60	30	40	27	75	86	50	83
58	C	セキセイインコ											1	1
種類合計			32	34	33	33	28	25	25	18	30	26	30	43
出現総羽数			1311	1297	957	2193	313	402	408	265	526	532	1122	1242

7. 浅川：一番橋～多摩川合流点 報告：門口一雄・裕子B

	1993年 月/日	1/10	2/07	3/06	4/04	5/04	6/27	7/10	8/21	9/15	10/9	11/27	12/11	
	開始 時:分		8:00	9:30	9:00	8:00	8:00	7:50	7:00	7:00	8:00	8:00	8:00	
	終了 時:分		1200	1230	1300	1200	1000	1100	1040	1030	1200	1200	1200	
	天気 (前後)		晴	晴	晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴	曇	晴	
	湯原・竹沢C 小塩D		A B	C	A B	A B	阿江	A B	A B C	A B	A B	A	A	
1	005	カイツブリ										1	3	
2	009	加賀カイツブリ							1	1				
3	040	カワウ	107	7	7	12	3					120	83	
4	052	ゴイサギ	11		1	3		1	2	2	3	5		
5	057	ダイサギ	6	5	2		2	3	7	5	6		9	
6	059	コサギ	17	10	3	4	10	6	14	20	17	10	20	37
7	062	アオサギ	3		1					1	1	2		
8	069	クロトキ	1				1	2		3	3	3		
9	086	オンドリ					1							
10	087	マガモ	4	5	4		1					4	10	
11	088	カルガモ	82	97	102	120	76	78	82	45	143	144	121	110
12	089	ユガモ	755	497	425	394	37				19	273	275	424
13	092	オカヨシガモ		2										
14	093	ヒドリガモ	130	65	120	98					15	77	104	
15	095	オナガガモ	167	101	184	4					12	74	74	
16	097	ハシビロガモ	13	10	17	10						5	9	
17	115	ミコアイサ		1	1								1	
18	120	トビ	1	2	2	2	1		1	2		1	1	
19	123	オオタカ	1								1	1	1	
20	145	チョウゲンボウ		1				1		1		1		
21	149	コジュケイ			1		1			1				
22	151	キジ			1		5	3			2		1	
23	176	コチドリ					4		1					

24	177	イカルチドリ	20	2		3	13	4	13	13	12	13	2	3
25	183	ムナグロ								19	4			
26	196	ハマシギ					93							
27	217	キアシシギ					20			13	1			
28	218	イソシギ	11	2	3	4	18	1	22	9	13	10	5	11
29	230	タシギ	1		1	12	7					4	2	6
30	245	ユリカモメ	107	100	20								58	78
31	246	セグロカモメ	6	5	6	1								3
32	296	キジバト	52	18	20	13	10	8	20	8	13	6	19	10
33	302	カッコウ							1					
34	321	ヤマセミ								1				
35	326	カワセミ			2									1
36	339	コゲラ			1	2	4	1			1		1	
37	344	ヒバリ			7	14	10	6				2	2	2
38	347	ツバメ				8	70	25	75	45	14	3		
39	349	コシアカツバメ										20		
40	350	イワツバメ				10	8	11	17	3				
41	354	キセキレイ	10	1								3	5	1
42	355	ハクセキレイ	19	33	14	11	6	4	2	5	1	21	45	26
43	356	セグロセキレイ	31	10	15	3	2		9	6	3	5	7	18
44	363	タヒバリ	18	45	5	30							28	29
45	367	ヒヨドリ	31	11	19	31	10	19	10	13	9	18	33	40
46	369	モズ	1	1	2	2	3				2	7	5	8
47	387	ジョウビタキ	1		4								3	1
48	388	ノビタキ										2		
49	405	ツグミ	35	11	18	28	21						33	4
50	410	ウグイス	4		2	13								1
51	416	オオヨシキリ					3		1	1	1			
52	425	セッカ				1	10	5	12	6	4			
53	441	シジュウカラ	16	4	4	4	2	2	5		8	2	3	7
54	444	メジロ												2
55	449	ホオジロ	19	10	15	6	4	2	6	2	1	2	4	13
56	455	カシラダカ	1											
57	461	アオヅ	26	10	10	25	2						7	11
58	464	オオジュリン	4											
59	471	カワラヒワ	176	60	22	2	5	10	28	7	19	98	110	33
60	486	シメ	1		1									
61	488	スズメ	272	146	150	125	105	60	160	140	204	440	310	170
62	493	ムクドリ	54	29	19	50	48	32	38	5	25		34	2
63	498	オナガ			14		7		2	4				6
64	503	ハシボソガラス	24	11	19	17	15	24	35	16	17	20	30	34
65	504	ハシブトガラス	4		5	3	1	2			5	2	4	4
66	A	アヒル											1	
67	B	ドバト	28	60	35	16	43	16	53	50	50	60	80	56
		種類合計	41	33	42	35	39	25	26	29	30	31	37	41
		出現総羽数	2270	1372	1304	1081	682	324	618	448	599	1208	1536	1446

8. 川口川：川口橋～明治橋

報告：関根 伸一・光世A・川戸B

1993年 月/日		1/10	2/13	3/27	4/29	5/15	6/27	7/24	8/23	9/24	10/23	11/23	12/19
開始 時:分		8:00	8:25	7:15	7:50	7:30	6:20	6:50	8:30	9:20	7:30	7:10	8:00
終了 時:分		1030	1130	1100	9:50	9:40	8:50	8:50	1030	1130	1030	9:50	1030
天気 (前後)		曇	晴	薄曇	小雨	晴	晴	曇雨	晴	曇	晴	晴	曇
栗原C 黒沢D 斎藤E		A~E	A	A		AB	A			A	A		A
1	052 ゴイサギ	7					1						
2	054 ササゴイ									1			
3	059 コサギ		7	2		1	2	5	3	2	6	2	5
4	087 マガモ		2	2								1	4
5	088 カルガモ	43	50	30	24	37	42	31	35	41	45	54	45
6	089 コガモ	28	25	14	30						18	26	25
7	149 コジュケイ					2		1					
8	151 キジ					1							
9	245 ユリカモメ	3											
10	296 キジバト	23	11	14	8	15	17	18	13	13	8	14	13
11	319 ヒメアマツバメ					6	1						
12	326 カワセミ	1	4	2	1	2	2			1	1	2	1
13	331 アオゲラ							1			1	1	
14	339 コゲラ	2	3		2	2	2	1				1	1
15	347 ツバメ				23	42	70	28	16				
16	354 キセキレイ	4		2		3	2	1	2		2	4	2
17	355 ハクセキレイ	6	16	3	1	6	5	1	2	1	2	5	9
18	356 セグロセキレイ	11	15	6	2	7	2	6	4	3	18	6	12
19	363 タヒバリ	1	1										
20	367 ヒヨドリ	14	14	9	14	13	35	33	28	9	53	30	30
21	369 モズ	2	5		1	1				2	4	3	4
22	387 ジョウビタキ		5	1								2	2
23	405 ツグミ	11	5	6								1	
24	410 ウグイス			4			2					3	1
25	441 シジュウカラ	6	10	5	3	2	5	2	1	1	5	4	2
26	444 メジロ			1					1				
27	449 ホオジロ		13	3								4	2
28	455 カシラダカ	1	2										
29	461 アオジ	2	2		2							3	2
30	471 カワラヒワ	19	53	8	10	4	3	4	1		8		14
31	486 シメ		1										1
32	488 スズメ	84	67	44	20	61	34	37	24	85	75	100	122
33	493 ムクドリ	36	27	29	21	39	25	6	14	2	53	23	29
34	498 オナガ		2		1	2	12	1	10	10	15	10	5
35	503 ハシボソガラス	11	6	10	3	12	16	6	8	2	9	4	4
36	504 ハシブトガラス	6	11	11			3	3	1	6		3	5
37	A アヒル								3	3	4	1	4
38	B ドバト		1		3	3	5	3	2	2	7		3
種類合計		22	26	21	18	20	21	19	18	17	19	25	26
出現総羽数		321	358	206	169	259	286	188	168	184	334	307	347

9. 湯殿川：白旗橋～時田橋

報告：三富 恒男

1993年 月/日	1/17	2/17	3/17	4/25	5/19	6/16	7/27	8/20	9/25	10/16	11/16	12/22
開始 時:分	7:30	7:30	8:00	7:00	7:30	6:50	8:00	8:00	7:30	8:00	8:00	8:30
終了 時:分	11:30	11:00	11:30	10:30	11:00	11:30	10:30	12:00	10:10	11:00	12:00	12:00
天気 (前後)	快晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇	曇	曇	晴	晴
調査協力者		夫人	夫人	峰崎	夫人		夫人	峰崎		夫人	夫人	夫人
1 040 カワウ												1
2 052 ゴイサギ						1						
3 059 コサギ	4	1	1	2		2		1		1	3	7
4 062 アオサギ	1											
5 087 マガモ	2	2	2								2	2
6 088 カルガモ	36	36	26	16	17	37	42	38	67	60	21	20
7 089 コガモ	43	24	35	15						51	58	37
8 095 オナガガモ	21	15	7							15	16	25
9 120 トビ			1				1					2
10 123 オオタカ											1	
11 149 コジュケイ		1		2						1		
12 151 キジ			1			1						
13 218 イソシギ				2	2			1	1	1		
14 245 ユリカモメ												7
15 296 キジバト	10	8	8	15	6	6	10	10	13	6	10	7
16 302 カッコウ						2						
17 326 カワセミ						1	1	1	1	1	1	2
18 344 ヒバリ				1								
19 347 ツバメ				4	10	12	18	70				
20 350 イワツバメ				3	7							
21 354 キセキレイ	2	3	2	2	1	2	2	3	1	3	5	7
22 355 ハクセキレイ	10	8	5	1	2	4	3		3	15	16	20
23 356 セグロセキレイ	5	4	5	7	1	6		12	10	11	8	12
24 360 ビンズイ			3									
25 363 タヒバリ	1	2	2									1
26 367 ヒヨドリ	13	16	11	9	11	12	9	6	5	21	13	8
27 369 モズ	2	2	2	2	1				2	3	7	3
28 387 ジョウビタキ		1									1	2
29 405 ツグミ		10	10	4								1
30 410 ウグイス			1	2		2						
31 441 シジュウカラ	3	2	3		1	1				1	2	1
32 444 メジロ			1								1	
33 449 ホオジロ	3	10	8						2		1	3
34 455 カシラダカ	10	6	4									
35 461 アオジ	2	1	1									1
36 471 カワラヒワ	40	30	6	12	4	2	3	7	5	3	3	10
37 486 シメ			1									
38 488 スズメ	100	100	60	40	160	70	32	60	100	230	120	60
39 493 ムクドリ	15	19	17	12	62	46	25	3	80	59	7	6
40 498 オナガ			13	3	11	5	3	11	3			18
41 503 ハシボソガラス	5	6	7	5	7	5	10	8	7	9	35	12
42 504 ハシブトガラス			1	1	2	1				1		
43 B ドバト	2	10	3		4	5	2	6	4	3	7	20

種類合計	23	24	30	22	18	21	14	14	16	20	23	27
出現総羽数	343	317	247	160	309	223	161	226	304	483	339	293

10. 多摩川：滝山城跡公園下

報告：三好 恒雄

1993年 月/日	1/28	2/27	3/28	4/27	5/26	6/29	8/01	8/26	9/28	10/27	11/30	12/26
開始 時:分	8:25	7:20	6:40	6:30	6:10	8:00	6:15	5:45	6:45	6:30	7:05	6:50
終了 時:分	11:10	10:30	9:20	9:30	8:00	10:30	8:15	8:00	9:15	9:30	10:00	9:40
天気 (前後)	小雨	晴	曇	晴	晴	雨曇	晴	曇	晴			晴
調査協力者	大関			大関	大関		大関		大関			
1 005 カイツブリ	4	6	8	6	3		1		2	4	5	6
2 040 カワウ	203	5	6	5							3	11
3 052 ゴイサギ					2	4	5	1				2
4 054 ササゴイ					3	7	1	3				
5 057 ダイサギ		1	1	1	1	1	1		7	1	4	2
6 059 コサギ	3	2		3	3	3	8	8	9	4	8	2
7 062 アオサギ	4	2	1	1			3	5	7	6	6	8
8 079 コブハクチョウ	1	1		1								
9 087 マガモ	2									3		
10 088 カルガモ		10	11	27	16	3	5	10	6	10	7	20
11 089 コガモ	68	196	139	58						3	10	10
12 091 ヨシガモ			2									
13 092 オカヨシガモ	14		12									
14 093 ヒドリガモ	12	34	10	3								6
15 095 オナガガモ	11	55	7								1	20
16 097 ハシビロガモ	4	12	6									6
17 120 トビ				1			1				1	
18 123 オオタカ			1						1		1	
19 129 ノスリ												1
20 149 コジュケイ			3	3	4	1	2	2	1		2	1
21 151 キジ	3	2	4	6	5						2	
22 167 バン				1								
23 176 コチドリ					3							
24 177 イカルチドリ		3	6	2	2			10	7	2	6	2
25 186 タゲリ										2		
26 189 トウネン								2				
27 196 ハマシギ	92	111	102							16	46	6
28 214 クサシギ									1	3	8	2
29 217 キアシシギ				3	3		10	15				
30 218 イソシギ	2	2	3	4	3	1	1	4	10	6	2	4
31 245 ユリカモメ	51		12	8						6	35	14
32 246 セグロカモメ	2	2	2								4	1
33 271 コアジサシ					1							
34 296 キジバト	5	6	16	12	16	2	8	15	13	17	26	10
35 326 カワセミ	1	2	3	3	1	2	4	2	3	3	2	3
36 339 コゲラ							1	1				
37 344 ヒバリ			4	3	4		1				1	
38 347 ツバメ			12		17	58	50	4	6			

39	350	イワツバメ				10			24	5								
40	354	キセキレイ				2	3			6	7	7	5	2	2			
41	355	ハクセキレイ	3	3	8	3					10	7	18	20	6			
42	356	セグロセキレイ	15	18	17	12		3	20	35	27	25	28	26				
43	363	タヒバリ	6	11	37	1						16	12	6				
44	367	ヒヨドリ	8		4	24	23	14	22	23	25	30	37	16				
45	369	モズ	4	2	3	3			4		7	5	3	2				
46	387	ジョウビタキ	2										1					
47	405	ツグミ	28	6	46	17							12	10				
48	410	ウグイス		3	5	8	5	3	3	1		2	2	1				
49	416	オオヨシキリ				2	11	4		1								
50	422	センダイムシクイ			1													
51	425	セッカ				6	6	2	3	6								
52	441	シジュウカラ	12	10	2			8	3	12	4	2	4	2				
53	444	メジロ									1							
54	449	ホオジロ	40	32	20	8	23	22	10	7	1	17	16	16				
55	455	カシラダカ											3	13	6			
56	461	アオジ	23	16	16	3						3	13	6				
57	471	カワラヒワ	50	22	2	15			27	2		60	40	13				
58	486	シメ											4					
59	488	スズメ	50	30	20	15	65	50	40	25	30	30	40	30				
60	493	ムクドリ	80	12	17	15	35	14		11	16		11					
61	498	オナガ										5	2	6	2			
62	503	ハシボソガラス	50	40	21	10	25	47	30	35	35	27	34	31				
63	504	ハシブトガラス	117	70	45	8	10	33	20	24	20	21	32	26				
64	A	アヒル	6	2	2	3	2		3									
65	B	ドバト		6				17		8			30					
種類合計			34	34	42	38	28	23	30	29	26	30	42	38				
出現総羽数			971	735	649	307	295	323	298	289	258	347	530	334				

11. 多摩川・浅川合流部

報告:阿江 範彦・谷井A・馬場B

1993年	月/日	1/09	2/20	3/13	4/17	5/15	6/19	7/17	8/29	9/18	10/16	11/20	12
開始	時:分	7:30	7:30	7:30	7:40	7:30	7:40	7:30	8:00	7:30	7:00	7:30	7:00
終了	時:分	10:10	10:00	9:00	10:00	10:00	9:50	9:00	9:30	9:05	9:55	9:50	9:50
天気	(前後)	曇	快晴	晴	晴	晴	雨曇	曇	曇	晴	曇	曇	快晴
粕谷C	三好D	大関E	CDE	AB	馬場	谷井	馬場			谷井	大関	B	木W
1	005	カイツブリ	3	6	2	2	3	2		1	5	4	2
2	040	カワウ	25	95	12	10	3				6	640	70
3	052	ゴイサギ					3			2	13		
4	054	ササゴイ					2	1	2				
5	057	ダイサギ	2	3	2	3	3		1	2	2	8	1
6	059	コサギ	9	12	1	9	3	7	1	12	13	11	29
7	062	アオサギ	1	1						3	2	5	4
8	069	クロトキ		2							1		
9	087	マガモ		7	4								
10	088	カルガモ	25	16	42	82	30	20	17	4	29	40	60
													20
11	089	コガモ	60	5	20	31					45	50	20

12	092	オカヨシガモ	11	4	10								8	10
13	093	ヒドリガモ	75	2		4							2	60
14	095	オナガガモ	20	3										4
15	097	ハンビロガモ	2			2								5
16	120	トビ	2	3		1		1		1	1	1	4	
17	123	オオタカ	1										1	
18	141	ハヤブサ	1											
19	145	チョウゲンボウ						1			1	1	1	
20	149	コジュケイ						2	1		1	1		
21	151	キジ		1		2	4	2	1			1	2	
22	160	クイナ				1								
23	167	バン						1				1		
24	176	コチドリ					2							
25	177	イカルチドリ	5	2		2				1		3		3
26	217	キアシシギ				1	7						5	2
27	218	イソシギ	1			1	1	5	3		7		2	4
28	230	タシギ				1							2	
29	245	ユリカモメ	120	49	10	4						6	58	60
30	246	セグロカモメ		8	1								2	3
31	296	キジバト	44	8	2	1	17	19	17	6	15	6	15	15
32	321	ヤマセミ								1				
33	326	カワセミ	3	1					1	1	3	1	1	
34	339	コゲラ						1	1					
35	344	ヒバリ	1	2	30	7	3	3				2		1
36	346	シヨウドウツバメ										140		
37	347	ツバメ				15	25	30	25	10		100		
38	349	コシアカツバメ										100		
39	354	キセキレイ										6	3	2
40	355	ハクセキレイ	7	8	15	3	5					10	40	30
41	356	セグロセキレイ	30	7	1	5	2	3	1	3	3	20	8	3
42	363	タヒバリ	25	30	20	10							25	60
43	367	ヒヨドリ	16	2		80	12	9	25	10	10	25	20	20
44	369	モズ		1		1	2	3	1			6	5	
45	387	ジョウビタキ	1	1	1									3
46	388	ノビタキ											1	
47	405	ツグミ	30	15	15	55							2	5
48	410	ウグイス	5	1		3							2	2
49	416	オオヨシキリ				2	6	14	5					
50	425	セッカ				20	12	20	10	10				
51	440	ヤマガラ				1								
52	441	シジュウカラ	30	33	5	2		11	12			4		
53	449	ホオジロ	25	14	35	15	6	14	10	6	5	20	12	30
54	455	カシラダカ	10											
55	461	アオジ	20	17	5	20							15	2
56	471	カワラヒワ	60	30	25	10			5			30	50	100
57	486	シメ	4	1		1								
58	488	スズメ	30	44	30	10	10	20	35	35	25	60	1	30
59	493	ムクドリ	60	21		21	35	24	12	30	35	14	5	15
60	498	オナガ	10	6		14	6	8	5	10	5			

61	503	ハシボソガラス	25	15	10	30	5	14	14	5	5	20	15	25
62	504	ハシブトガラス	3	2	2			4	2			1	4	2
63	B	ドバト	15	1	30	2	2	59	17	3	35	20	3	20
64		バリケン	1											
種類合計			39	39	25	38	24	28	25	20	18	38	34	33
出現総羽数			817	478	302	505	208	302	225	152	199	732	1102	652

12. 都立小宮公園

報告: 田中 英吉・榛沢 務

1993年	月/日	1/20	2/22	3/22	4/19	5/24	6/24	7/27	8/23	9/30	10/23	11/18	12/21
開始	時:分	8:00	8:30	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00
終了	時:分	10:20	10:30	10:50	10:50	10:20	10:00	10:00	9:55	10:25	10:00	10:25	10:30
天気	(前後)	晴	晴		晴		曇	曇	晴	晴	晴	曇	曇
調査	協力者			本島	本島								
1	059	コサギ											1
2	088	カルガモ	4	4	3	4	2	1					5
3	149	コジュケイ	1		2	1	1			1		1	
4	151	キジ			1	4	3	1	1			2	1
5	296	キジバト	12	10	12	8	3	6	5	8	6	4	18
6	331	アオゲラ		1		2							1
7	339	コゲラ	3	4	3	2	2	3	1		7	4	1
8	344	ヒバリ		1	1	1	2	1					4
9	347	ツバメ					6	19	6	5			
10	350	イワツバメ					2	2					
11	354	キセキレイ	2		1						1		
12	355	ハクセキレイ									1	3	
13	356	セグロセキレイ				2							
14	360	ビンズイ	2										
15	367	ヒヨドリ	6	8	20	60	26	19	17	18	6	25	31
16	369	モズ	2	2	3					1	7	2	3
17	386	ルリヒタキ		1	1								1
18	387	ジョウビタキ	2									1	
19	400	アカハラ		1									
20	402	シロハラ		1	1	1							
21	405	ツグミ	14	18	12	14							1
22	410	ウグイス	1			2		2					
23	435	エナガ											6
24	440	ヤマガラ	3	2									
25	441	シジュウカラ	46	35	18	35	18	8	4	11	9	15	5
26	444	メジロ		1						5			
27	449	ホオジロ	2	10	5				3			2	4
28	455	カシラダカ	12		23								15
29	461	アオジ				1							
30	471	カワラヒワ	32	10	58	81	30	5	2		13	3	2
31	485	イカル							1				
32	486	シメ	2	3	1	1						9	1
33	488	スズメ	25	31	5	35	49	48	25	70	3	23	49
34	493	ムクドリ	33	5	40	12	29	23	2	6		3	3
35	496	カケス		2		3							

36	498	オナガ					28	1		2					
37	503	ハシボソガラス	5	6	31	6	2	4	15	20	6	10	7	21	
38	504	ハシブトガラス	4	5	6	4	5	1	17	3	9	6	5	7	
		種類合計	21	22	21	22	15	15	13	9	10	12	16	19	
		出現総羽数	213	161	247	307	179	143	100	142	53	112	127	180	

13. 都立片倉城跡公園

報告:大関 豊A・小池 一男B

1993年	月/日	開始時:分	終了時:分	天気	調査報告者	1/12	2/12	3/13	4/10	5/08	6/12	7/17	8/21	9/11	10/9	11/20	12/18
						8:00	7:50	8:00	7:00	6:30	6:10	6:10	6:00	7:20	7:00	7:00	7:30
						9:40	9:20	10:00	9:20	8:25	8:00	9:20	8:00	8:45	8:45	8:45	11:00
						晴	晴	晴	晴	曇	快晴	曇	薄曇	晴	快晴	曇	晴
						大関	大関	A B	A B	A B	A B	小池	A B	大関	大関	A B	小池
1	040	カワウ							1								
2	059	コサギ													1		5
3	088	カルガモ	13	16	15	11	8	5	20	33	13	14	23	4	22	2	
4	089	コガモ			2											4	2
5	093	ヒドリガモ															4
6	120	トビ			1												
7	149	コジュケイ						2	1	1	1	2	4				
8	167	バン						1									
9	218	イソシギ	1	1													
10	245	ユリカモメ															23
11	296	キジバト	8	6	3	7	5	4	4	10	5	5	12	2			
12	326	カワセミ							1								1
13	331	アオゲラ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
14	339	コゲラ	1	1	2	3	2	3	10	5	1	1	1	2	6		
15	347	ツバメ				8	16	10	25	12	1						
16	354	キセキレイ				2	1						5	1	1	1	4
17	355	ハクセキレイ	4	2	2								3	1	4	5	4
18	356	セグロセキレイ		1		2	5	2					3	1	3	4	2
19	363	タヒバリ			1												
20	367	ヒヨドリ	5	3	6	12	10	11	19	12	11	50	25	30			
21	369	モズ	1	1		1									3	2	1
22	400	アカハラ							1								
23	402	シロハラ		1	1	1											
24	405	ツグミ	2	2	3	3											1
25	410	ウグイス	1	2	1	1										3	8
26	427	キビタキ				2									1		
27	435	エナガ			8	6											
28	440	ヤマガラ	7	10	8	6	5				6	6				6	2
29	441	シジュウカラ	10	14	10	15	15	24	40	30	16	22	10	28			
30	444	メジロ	6	4	6	18	10	10	3	14	15	12	6	22			
31	449	ホオジロ	2											1	1		
32	455	カシラダカ		1													
33	461	アオジ	8	6	6	2	1										
34	471	カワラヒワ	14	4	3		4	20	1	2					15	35	
35	485	イカル						1									

36	486	シメ	2	1	1	1									
37	488	スズメ	17	18	10	30	25	60	80	20	15	25	10	39	
38	493	ムクドリ	7	6	4	4	15	7	13		1				
39	496	カケス			2						1				
40	498	オナガ	4				3	6	3	13	12				
41	503	ハシボソガラス	6	4	5	6	4	5	2	5	7	8	15	15	
42	504	ハシブトガラス				8	1	1	2		2	2	6	2	
43	A	アヒル	4	5	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	
44	B	ドバト		2		1			8	4			5	30	
種類合計			22	24	23	26	23	18	18	19	17	21	20	23	
出現総羽数			126	112	104	151	144	175	242	183	108	164	159	288	

14. 都立長沼公園

報告:馬場 裕・百合亜A

1993年	月/日	1/17	2/12	3/27	4/18	5/22	6/20	7/18	8/12	9/26	10/23	11/23	12/23
	開始 時:分	1250	1135	9:35	1050	9:20	9:05	1310	1500	1500	7:45	8:20	9:10
	終了 時:分	1540	1540	1230	1310	1145	1140	1450	1640	1730	9:30	1020	1210
	天気 (前後)	快晴	晴曇	曇	快晴	曇雨	晴	霧雨	快晴	快晴	晴	快晴	快晴
	協力:湯原B 竹沢C	A	A	A	A	AB	ABC		A	A	A	A	ABC
1	088 カルガモ				2								1
2	123 オオタカ												
3	125 ツミ											1	
4	130 サシバ					1							
5	149 コジュケイ	1	2	7	4	4	5	5	2		6	1	
6	151 キジ			1									
7	296 キジバト	3	6	16	2	13	3	5	4	1	6	4	6
8	304 ホトトギス						1						
9	319 ヒメアマツバメ				2								
10	331 アオゲラ	1	4			2		1	2		3	1	
11	332 アカゲラ	1											
12	339 コゲラ	4	17	15	5	10	11	9	12	9	1	6	10
13	347 ツバメ				2	4	7	8	4				
14	350 イワツバメ				3	2		2					
15	354 キセキレイ			4	1	2					2	1	1
16	356 セグロセキレイ												2
17	360 ビンズイ		2									3	
18	367 ヒヨドリ	11	28	34	22	45	28	49	13	25	45	32	18
19	369 モズ		1	3							5	2	
20	386 ルリビタキ	1										4	5
21	387 ジョウビタキ			2								2	2
22	400 アカハラ								1				
23	402 シロハラ											1	
24	405 ツグミ	1	2	15	2								4
25	409 ヤブサメ							2					
26	410 ウグイス	6	8	12	5	5	3	4			2	13	10
27	424 キクイタダキ		3	2	2								
28	430 オオルリ									1			
29	435 エナガ	13	46	4	4		13		18	13	10		24

30	438	コガラ	1	4														
31	439	ヒガラ		8	1													
32	440	ヤマガラ	5	10	19			1		4		4	5	2				
33	441	シジユウカラ	16	21	33	25	23	23	6	33	31	30	28	17				
34	444	メジロ	36	18	12	11	15	23	9	39	10	17	18	16				
35	449	ホオジロ		3	3		7	2	3		1	12	2					
36	455	カシラダカ	1	20	1								20	1				
37	461	アオツ	16	13	5	3							10	10				
38	471	カワラヒワ	7	9	10	6		1	4			1	17	15				
39	483	ウソ		6														
40	486	シメ		3														
41	488	スズメ			7	5	11	33	28	1								
42	493	ムクドリ		1	3	5	11	4	2	2								
43	496	カケス	3	1	2							2	4	1				
44	498	オナガ	11	6	2		2											
45	503	ハシボソガラス	43	7	23	6	10	12	17	4	11	6	9	6				
46	504	ハシブトガラス	4	10	16	7	12	4	6	2	9	8	6	12				
47	B	ドバト									3							
種類合計			21	27	26	21	18	17	17	15	11	17	22	21				
出現総羽数			185	259	252	124	179	174	160	141	114	160	187	166				

以上

鳥 信

(1993年 7月～12月)



1. 冬鳥の初認

1) コガモ	9.11	2羽	浅川・萩原橋下流側	登坂 久雄
2) ヒドリガモ	10. 2	1羽	〃・大和田橋上流側	小山万太郎
3) オナガガモ	9.28	♀1	〃・浅川橋付近	竹沢ひろみ
4) ハシビロガモ	10.31	1羽	〃・多摩川合流付近	門口 一雄 〃 裕子
5) ミコアイサ	12.11	1羽	〃・一番橋～合流	門口夫妻
6) ユリカモメ	10.28	40羽	〃・大和田橋上流側	小山
7) タヒバリ	10.31	2羽	〃・多摩川合流付近	門口夫妻
8) モズ (高鳴き)	9. 5	1羽	北浅川・元八王子市民 センター付近	粕谷 和夫
9) ジョウビタキ	10.24	1羽	大和田町6丁目	小山
10) ツグミ	11.15	4羽	〃	〃

2. 通過・終認・越夏等

1) サシバ (渡り)

9月27日～10月 7日の間、浅川 (鶴巻橋付近、12時10分～同50分)
で行った調査結果は次のとおり。 湯原、竹沢

9.27	晴れ (風無し)	出現せず
9.28	〃 (〃東から西へ)	6羽高尾方面へ
9.29	曇り (〃無し)	出現せず
10. 7	—— (〃南から北へ)	〃

(注) 9月26日の詳細は別掲

2) ムナグロ

8.21	19羽	浅川・多摩川合流付近	門口夫妻 小塩 菊子
------	-----	------------	---------------

3) トウネン

8.25	2羽	多摩川・滝山下水管橋の下流 50mの中州	大関 豊
8.26	2羽	〃	三好 恒夫

4) カッコウ (声)

6.15	1羽	平山城址公園	馬場 裕
6.22	1羽	下袖木方面の山	〃
7.10	1羽	浅川・一番橋～多摩川合流	門口夫妻

5) ツツドリ

10. 2	1羽	片倉城址公園 桜の木に止まり毛虫を食べていた	門口
-------	----	---------------------------	----

6) ホトトギス (越夏)

6.6～7.6 (1ヶ月)		下袖木の山で声	馬場
7.23	1羽	平山の京王研修センターの ガラスに激突	木村 正子 馬場
6.9～8.25 (2ヶ月弱)	1羽	川町・恩方の山	今井 達郎

7) ツバメ類の渡り

9.28	イワツバメ	30羽	浅川・鶴巻橋上空	湯原 直彦 竹沢			
10. 9	コシアカツバメ	20羽	〃 ・ 一番橋～合流	門口夫妻			
10.10	ショウドウツバメ コシアカツバメ ツバメ アマツバメ	} の混群	多摩川・滝山下	定例探鳥会			
10.14	アマツバメ				10羽	浅川・鶴巻橋上空	湯原
10.16	ショウドウツバメ コシアカツバメ ツバメ				140羽 100羽 100羽	多摩川・浅川合流部 (下流から上流へ)	阿江 範彦 大関
10.24	ショウドウツバメ				10数羽		

8) ノビタキ

10. 9	2羽 (冬羽)	浅川・日野市営プール付近	門口夫妻
10.10	7羽	多摩川・高月浄水場付近	湯原
10.16	1羽	〃 ・ 浅川合流部	阿江、大関
10.18	2羽	浅川・大和田橋～長沼橋	川上 恚

- 9) ヤブサメ
 4.23 1羽 長沼公園 馬場 裕
 " 百合亜
- 10) エゾムシクイ
 9.19 1羽 多摩川・多摩大橋付近 湯原、竹沢
- 11) キビタキ
 10.9 ♂1 片倉城址公園 大関
- 12) オオルリ
 9.26 幼1 長沼公園 馬場

3. 希少種 (浅川とその周辺)

- 1) アカエリカイツブリ
 10.23 1羽 浅川・多摩川合流付近 門口
 10.31 1羽 " 門口夫妻
- 2) カンムリカイツブリ
 8.21 1羽 浅川・ふれあい橋上流 200m 門口夫妻
 小塩
 8.28 1羽 " 粕谷
 9.15 1羽 " 門口夫妻
 小塩
- (注) このカンムリカイツブリは会報No.11の33ページに
 掲載のものが、下流に行ったものと思われる。
- 3) ヨシゴイ
 9.11 ~ 12 1羽 浅川・萩原橋下流側 登坂
- 4) アマサギ
 8.22 1羽 浅川・松江橋～鶴巻橋 福島
 清水 茂
 北平 章
- 5) オシドリ
 10.31 1番 北浅川・陵北大橋下 馬場、大関
- 6) オカヨシガモ
 12.5 数羽 多摩川・浅川合流部 阿江他6名
- 7) ツミ
 9.17 1羽 小宮公園 小山

7) ツミ (続き)				
	11. 6	1羽	北浅川・陵北大橋付近	湯原
	11. 23	1羽	長沼公園	馬場夫妻
	12. 5	1羽	川口川	三好、北平
8) ハヤブサ				
	9. 30	1羽	高月町・東秋川橋付近	大関
9) ヤマドリ				
	11. 23	1羽	黒川清流公園	阿江
10) バン				
	8. 17 ~ 18	若 1	浅川・八高線鉄橋付近	小山
	10. 16	1羽	多摩川・浅川合流部	阿江、大関
	10. 31	幼 1	北浅川・陵北大橋付近	馬場、大関
	12. 5	1羽	多摩川・浅川合流部	阿江他 6名
11) オオバン				
	9. 19	2羽	多摩川・平堰付近	湯原、竹沢
12) タゲリ				
	10. 27	2羽	多摩川・滝山下	三好
13) クサシギ				
	9. 28	1羽	多摩川・滝山下	三好、大関
	12. 12	1羽	浅川・新浅川橋付近	探鳥会
	12. 14	1羽	〃・大和田橋下流側	湯原
14) ウミネコ				
	12. 11	3羽	浅川・長沼橋～一番橋	山崎 悠一 久美子
15) ツツドリ				
	5. 9	1羽	小津川～山入川	前田 善明
16) ヤマセミ				
	4. 10	2羽	北浅川・大沢橋～力石橋	前田
	8. 21	1羽	浅川・多摩川合流部 (ニセアカシヤの木)	門口夫妻 小塩
	8. 29	1羽	多摩川・浅川合流部	阿江
17) アリスイ				
	12. 14	1羽	浅川・大和田橋下流河川敷の低木	湯原
18) コシアカツバメ				
	7. 28	1羽	京王線・南大沢駅南口広場	馬場

- 19) ビンズイ
 12. 5 数羽 八王子市小津の梅林 柏谷
 馬場夫妻
 栗原 勝
- 20) カワガラス
 2. 20 3羽 北浅川・大沢橋～力石橋 前田
 4. 10 2羽 〃 〃
 12. 5 1羽 上恩方・醍醐川 門口夫妻
 湯原、竹沢
 12. 5 1羽 〃・恩方マス釣り場付近 〃
- 21) ルリビタキ
 11. 24 ♀1 小宮公園 小山
 12. 5 1羽 黒川清流公園 阿江他4名
 12. 5 数羽 八王子市小津 柏谷
 馬場夫妻
 12. 5 1羽 上恩方・醍醐川 門口夫妻
 湯原、竹沢
 12. 5 ♂2 表高尾・大垂水峠下林道 川上、大関
 ♀1 久保田ヤス子
 志村 進
 12. 21 1羽 小宮公園 田中 英吉
 榛沢 努
- 22) イソヒヨドリ
 12. 12 ♀1 浅川・新浅川橋付近 探鳥会
- 23) アカハラ
 4. 12 1羽 溝の口団地住宅の庭 馬場
 (他に1月末にも同所で)
 8. 12 1羽 長沼公園・川野北 〃
- 24) シロハラ
 11. 23 1羽 長沼公園 馬場夫妻
- 25) ヤブサメ
 5. 9 2羽 小津川～山入川 前田
 7. 18 2羽 長沼公園 馬場
- 26) センダイムシクイ
 5. 9 2羽 小津川～山入川 前田

- 27) キクイタダキ
 12. 5 1羽 上恩方・醍醐川八 門口夫妻
 湯原、竹沢
- 28) セッカ (出現場所)
 9. 5 2羽 榎原町・区画整理事業用空き地 大関
- 29) サンコウチョウ
 5. 9 1羽 小津川～山入川 前田
- 30) シラガホオジロ
 10.23 1羽 浅川・多摩川合流部 門口
- 31) ミヤマホオジロ
 12. 5 1羽 表高尾・一丁平南下の林道 川上、大関
 久保田、志村
- 32) クロジ
 12. 5 ♂2 上恩方・醍醐川八 門口夫妻
 湯原、竹沢
 12. 5 2番 裏高尾・日影沢及び日影沢の上 河村 道寛
 " 洋子
 12. 5 1羽 表高尾・初沢町高尾霊園奥の沢 川上、大関
 志村
- 33) マヒワ
 12. 5 群れ 日野市南平のノジマ付近 山崎夫妻
- 34) アオバト (声のみ)
 9.26 1～数羽 滝山丘陵国民宿舎前 粕谷
- 35) ヘキチョウ
 10.11 2羽 多摩川・滝山下水管橋下流50m 山崎、大関
 昭島市側の河川敷き 関根 伸一
- 36) カオグロガビチョウ
 9.11 2羽 北浅川・松竹橋と東大沢橋の間、 今井、関根
 右岸側。篠竹とクズの繁みの上 馬場
 でつる草の実をとり程なく下の
 繁みにひそむ。関根さんが写真
 を撮る。
 9.12 前日と同じ場所で梅の木に架けて 河村 洋子
 あったカオグロガビチョウの巣ら
 しき空巣を発見。ただし確定はで
 きない。

4. 繁殖、行動、その他

1) カイツブリ (繁殖)

- 9.19 親 1 子 3 多摩川・平堰付近 湯原、竹沢
 10.16 親 1 子 1 " 浅川合流部 阿江、大関
 (親がヒナに小魚を与える)

2) カワウ (大群飛来)

- 11.19 約 250羽 浅川・大和田橋上空を通過後、 田中
 石川方面へ
 11.20 約 640羽 多摩川・浅川合流部 阿江、馬場
 (4群: 130+200+60+150) 柚木 鎮夫
 " 育子
 11.24 約 300羽 浅川・暁橋上空を通過後、 田中
 鶴巻橋あたりから多摩川方面へ
 12. 2 約 300羽 浅川・萩原橋～鶴巻橋 福島
 12.18 約 200羽 " 鶴巻橋～大和田橋 榛沢

3) キジバト (季節はずれの繁殖)

市街地内(八王子市本町・みずき通り)の街路樹(ミズキ)で季節はずれに営巣したが、営巣木が落葉樹である為、落葉前に巣立つことができず途中で放棄した模様。

- 10.10 抱卵中のキジバトを発見 粕谷
 10.25 イガグリ頭のヒナ 2羽確認 田中
 10.26 ヒナ 2羽確認 "
 10.27 " " "
 10.28 " " "
 10.29 ヒナ姿無し "
 10.30 " " "

4) ハクセキレイ (モビング)

- 9.21 1羽 浅川・鶴巻橋上流側 湯原
 イタチをモビングする
 10.20 4羽 浅川・鶴巻橋上流側 "
 チョウゲンボウをモビングする

5) カワガラス (繁殖)

3. 6 ♂ 1 ♀ 1 北浅川・西大沢橋上流 前田
 (巣作り中)

6) ムクドリ (大きな集団)

12. 5 約 600羽 浅川・松江小学校西側の約 三好、北平
500 mの地点。(16時20分) 川戸

7) アオゲラ (ねぐら用巣箱の架設)

1993年12月12日、片倉城址公園にアオゲラねぐら用巣箱2ヶ架設した。これは営巣用でなく、夜のねぐら用のもので底無しの構造になっている。アオゲラ又はアカゲラに夜の安全なねぐら場所を提供する為のもので、昼間は空き家になる。利用しているかどうかは底無しのため下からのぞけるので、夜間に同公園近く行った時は、本人の身の安全に充分注意のうえ利用状況を観察し、その結果を鳥信として報告下さい(利用してない事も含めて)。 粕谷

5. その他

1) イタチ

9.21 1頭 浅川・鶴巻橋上流側 湯原

11.16 1頭 // (家裏のそばで)イタチ

11.30 1頭 (多摩川・浅川合流部)内田市 //

11.30 1頭 // ・滝山下 三好

2) アオダイショウ

8.10 1匹 北浅川・陵北大橋下流の木造橋 河村夫妻
(1.4メートルの大きさ)

3) カジカガエルの声

7.10 浅川・松江住宅の近く 河村夫妻
(最下流記録と思われる)

4) ミヤマサナエ (トンボ)

8.29 5~6匹 浅川・萩原橋下流側 登坂

5) なお、小助川千恵子会員(八王子市叶谷町)から昨年(2月~7月)の観察記録が送られてきました。その内の主なものは次のとおりです。

2月 隣家の竹やぶでウグイスが「ケキョ」と鳴いた。

4月 近所の木工所の軒にムクドリが営巣し数羽の雛が巣立った。

6月 自宅の庭に黒あげ羽蝶が数匹来た。

7月 自宅私道の電柱に付いていた蛹から羽化した直後の蛾がヒヨドリに食べられた。

会長より一言

今期も33名の会員から多数の鳥信が寄せられました。が、その内、タシギ、キアシシギ、ハマシギ、オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウ、クロトキ、イカル、セグロカモメ、ゴイサギ等については掲載を割愛させていただきました。今後 50名以上 の会員から鳥信がありますよう期待します。

以上



クイズ・コーナー

「味も誉めろ、科学は怒らん」 ナ、ナンダコリャ!?

【問題】 上記の意味不明な言葉、実は何種類かの野鳥が隠されています。幾ついるか考えてみて下さい。

(ヒント) カタカナに置き換えると分かりやすくなります。

分かった数 1~5種類⇒ もっと勉強しましょう。
6~9 //⇒ ヤッタネ。もう少し粘ってみよう。
10~14 //⇒ 良く頑張りました。でもまだいます。

あなたは幾つ見つかったかな?

答は次号No.13で発表します。お楽しみに!

平成5年浅川流域のイワツバメ営巣調査

川口水系から営巣無くなる

浅川流域のイワツバメの営巣調査は1987年から始めて、本年で7年目となった。本年の調査方法は前年までと同じで、調査対象区域を浅川全流域とし、ここを15の区域に分け各調査区域内のコンクリート建造物を中心にイワツバメの営巣の有無をしらべ、そこで繁殖を確認した巣の数をカウントした。

この調査は5月から7月の間に2回行い、今年利用している巣の数が2回の内、多かった方をその場所の営巣数とした。結果は次表のとおりで、昨年までの調査結果と比べ変わった点など、主なポイントは次のとおりである。

- ① 全体的には、営巣地数は17で変わらず、営巣数は332で、1987年以来過去最高となった。
- ② 本年、新たに営巣を始めた所は南浅川流域の東浅川小学校、湯殿川の打越大橋、時見橋の3カ所であった。
- ③ 浅川本流から湯殿川への移動は、本年もその傾向が見られた。これは、JR横浜線片倉駅周辺及び京王線北野駅周辺の高架化により新たな営巣適地がふえたことによるものと思われる。
- ④ 浅川水系でないのでカウントはしなかったが、本年も八王子市内の小栗川水系の橋にも営巣が確認された。
- ⑤ 京王線東浅川小学校前はヒメアマツバメに乘っ取られていて、今年もイワツバメの営巣は確認出来なかったが、新たに隣接東浅川小学校で営巣1が記録された。なお、本年の各調査区域の担当者は次のとおりでした。

(取りまとめ：粕谷和夫)

調 査 区 域		担 当 者
1	北 浅 川	大沢橋 ～ 陵北大橋
2		陵北大橋 ～ 松枝橋
3	浅 川 本 流	松枝橋 ～ 鶴巻橋
4		鶴巻橋 ～ 大和田橋
5		大和田橋 ～ 長沼橋
6		長沼橋 ～ 一番橋
7		一番橋 ～ 多摩川合流
8	川 口 川	川口橋 ～ 明治橋
9		明治橋 ～ 浅川合流
10	南 浅 川	案内橋 ～ 敷島橋
11		敷島橋 ～ 浅川合流
12	城 山 川	月夜峰新橋～浅川合流
13	山 田 川	山田橋 ～ 浅川合流
14	湯 殿 川	白旗橋 ～ 時田橋
15		時田橋 ～ 浅川合流

- (次表の凡例) (A) コンクリート建物 (ー) 未調査
 (B) コンクリート道路橋 (×) 人工破壊等による放棄
 (C) コンクリート鉄道高架下 (?) 営巣あるがカウント不能
 (D) 鉄製デッキプレート橋上駅下

平成5年(1993)までの浅川流域イワツバメ営巣数調査結果

流域別 / 営巣場所	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993
北 浅 川	大沢橋～陵北大橋	-	-	-	0	0	0
	松枝住宅 (A)	-	-	×	3	9	2
	中央高速道路橋 (B)	17	30	34	14	16	0
浅 川 本 流	市立第2中学校 (A)	-	16	2	×	0	0
	萩原橋 (B)	0	2	0	2	0	0
	暁橋 (B)	0	14	42	35	21	22
	浅川大橋 (B)	0	0	0	6	6	6
	大和田橋 (B)	69	60	39	36	7	0
	北野清掃工場 (A)	×	×	6	0	0	0
	西東京生コン工場 (A)	25	×	0	0	0	0
	長沼橋 (B)	0	0	0	0	10	6
	滝合橋 (B)	0	0	0	0	0	9
	平山中学校 (A)	-	3	6	3	0	0
	16号ビル片倉台付近 (B)	?	0	0	0	0	0
一番橋 (B)	1	0	0	0	2	12	
高幡橋 (B)	1	0	0	5	0	0	
川 口 川	川口橋～明治橋	0	0	0	0	0	0
	市立清水小学校 (A)	4	4	0	0	0	0
	関守橋 (B)	0	0	0	0	0	4
	市立川口児童館 (A)	-	?	2	×	0	0
	市立橋原中学校 (A)	-	×	5	×	0	0
	シンワ(株) (A)	-	9	5	×	0	0
城山川	月夜峰新橋～浅川合		0	0	0	0	0
南 浅 川	京王線高尾山口駅 (C)	6	7	6	10	7	20
	京王線高尾駅 (C)	10	5	5	20	20	20
	〃 東浅川小学校前 (C)	20	5	2	0	0	0
	東浅川小学校 (A)	0	0	0	0	0	0
	東横山橋 (B)	6	8	5	0	0	0
八王子工高体育館 (A)	0	0	5	7	8	8	
山田川	JR八王子駅 (D)		50	92	45	51	117
湯 殿 川	北野ハケシタビル (A)	1	6	9	6	×	0
	JR片倉駅 (C)	0	0	0	0	5	12
	京王線北野駅 (C)	0	0	0	0	31	58
	兵衛川横浜線鉄橋 (C)	0	0	0	0	3	4
	片倉サライ 幼稚園 (A)	0	0	0	0	8	10
	東橋 (B)	-	0	1	0	0	0
	打越大橋 (B)	0	0	0	0	0	0
時見橋 (B)	0	0	0	0	0	0	
合 計	営巣ヶ所数	13	17	17	13	16	15
	営巣数	210	262	219	198	270	293

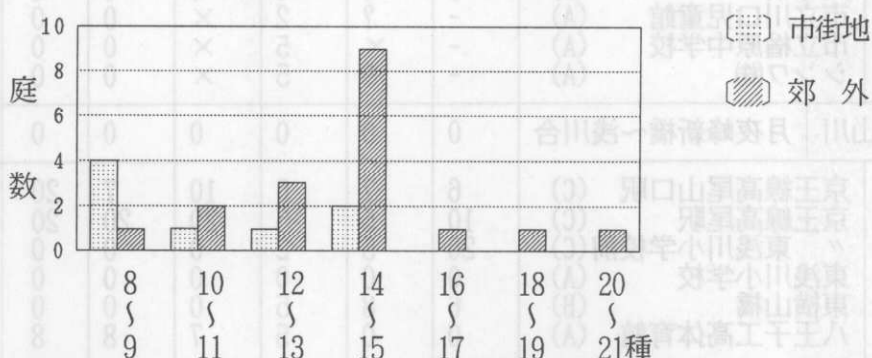


庭に来る鳥 平均で13種 (平成5年庭に来る野鳥の調査結果)

標記調査を前年に引き続き実施した。調査に参加した点数は全体で28、内八王子、日野市内の住宅地の庭に係るもの26（前年は19）であった。庭に飛来する野鳥の種類は平均で市街地10.9郊外14.2全体平均13.2種で前年を上まわった（次表）。
(庭に来る野鳥の平均種類数)

	1993年		(前年) 1992年	
	調査点数	平均飛来種類数	調査点数	平均飛来種類数
市街地の庭	8	10.9	9	9.4
郊外の庭	18	14.2	10	13.0
計(平均)	26	13.2	19	11.7

なお、上表以外の2例については、1例は多摩市内の郊外で15種、もう1例は日野市内の工場敷地で22種であった。上表について度数分布図を描いてみると次表のとおりになり郊外の方は平均を中心にほぼ正規分布に近い形を示したが、市街地の方はバラツキが目立った。この図から郊外の方がより多くの種類が飛来することが明瞭に読み取れる。



本年の調査参加者は次のおとりであり、来年はもっと多くの参加を期待する。

市街地の庭	尾又英雄 粕谷寿美子 川戸恵一 小池一男 清水茂 田中英吉 本島てるみ 三好恒雄
郊外の庭	今井達郎 大関豊 小笠原敏子 加藤岸男 門口裕子 川上 恚 河村洋子 北平章 久保田ヤス子 熊坂政晃 栗原勝 栗原正江 小山万太郎 阪田友道 関根伸一 馬場裕 馬場百合亜 三富恒男 峰尾良雄と家族 山崎悠一 山崎久美子
その他	柚木育子 山崎悠一

では、住宅地にどのような野鳥が来るのか。次表のとおり29種（市街地は22種）で、●印の10種はほとんどの家に飛来する鳥である。

住宅地の庭に来る野鳥（1993年八王子市、日野市内）

種 類	市街地の庭	郊外の庭	飛来頻度
149 コジュケイ	①	①	
295 キジバト	⑥	⑱	●
331 アオゲラ		①	
339 コゲラ	③	⑧	
347 ツバメ	①	⑨	
354 キセキレイ	②	④	
355 ハクセキレイ		①	
356 セグロセキレイ	①	①	
367 ヒヨドリ	⑧	⑱	●
369 モズ	②	⑧	
386 ルリビタキ		①	
387 ジョウビタキ	④	⑭	●
402 シロハラ		①	
405 ツグミ	⑦	⑭	●
410 ウグイス	⑤	⑱	●

種 類	市街地の庭	郊外の庭	飛来頻度
440 ヤマガラ		②	
441 シジュウカラ	⑧	⑱	●
444 メジロ	⑧	⑱	●
449 ホオジロ		④	
455 カシラダカ		①	
461 アオジ	①	⑦	
471 カワラヒワ	⑥	⑱	●
486 シメ	③	⑥	
488 スズメ	⑧	⑱	●
493 ムクドリ	④	⑱	●
498 オナガ	④	⑩	
503 ハシボソガラス	①	⑪	
504 ハシブトガラス	③	⑨	
A ドバト	③	④	
計	22	29	10

注) ○の中の数値は当該野鳥が飛来した庭数を示す
（市街地の最高は8、郊外の最高は18）。

（とりまとめ：粕谷和夫）

ハクセキレイの集団ねぐら

(1) 八王子市横山町三角広場 (田中英吉観察)

常緑樹であるヤマモモ及びクスノキをねぐらをねぐらとしており、1990年2月から毎月1回、朝の飛び出し数をカウントしている。今期('93年7月～12月)の結果は次表のとおりです。

単位：羽

年月日	4:31	5:01	5:31	6:01	計
	5:00	5:30	6:00	6:30	
93. 7. 29	5				5
8. 24	43	4			47
9. 30	6	30			36
10. 30		2	121		123
11. 24			92	29	121
12. 22				239	239

また、1990年2月以降4シーズン調査を継続しているが、各シーズンの最大値(冬期)と最小値(夏期)を列記すると次のようになる。

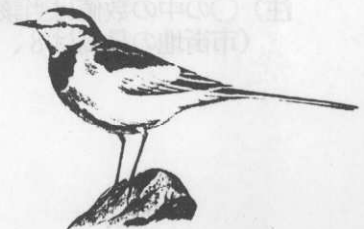
単位：羽

	90年 2月	90年 (秋)	91年 (秋)	92年 (秋)
	90年 (夏)	91年 (夏)	92年 (夏)	93年 (夏)
最大値 (冬期)	167	403	273	437
最小値 (夏期)	12	27	54	5

(2) 八王子市北野町、下野下水処理場分場前 (粕谷和夫観察)

ここは、1989年10月に齊藤会員によって発見されたが、落葉樹(トウカエデ)をねぐらとするため、落葉後には姿を消してしまい、翌90年6月に齊藤会員から新緑とともに戻ってきているという鳥信があったただけでした。

1993年の秋から冬に粕谷が調査したところ、次のことがわかりました。即ち、トウカエデの葉の有る間は200羽から300羽の規模でねぐらを形成し、落葉後は同処理場構内の1本の常緑樹及び道路を隔てた向かいの西東京三菱北野の店先に植えてある3本の常緑樹に移動し同規模のねぐらが維持されていることを確認しました。西東京三菱北野の方は樹木がライトアップされているので、ねぐら入りするハクセキレイの姿が光に浮かび上がります(10月11日、10月21日、12月11日、12月30日の各夕方観察結果)。



東浅川のヒメアマツバメ (1993年7月~12月)

八王子市東浅川の京王高尾線高架下にヒメアマツバメのコロニーがあり、1989年6月から毎月1回観察調査を行っており5年間が経過した。

この5年間、一時的な数の減少はあったものの、40~50羽が年間を通じて生息し(留鳥型)朝ねぐらを飛び出しどこかに消え、夕に帰巢(1年中、夜は巣を利用)し、繁殖期には数羽が昼間も巣に出入りするというパターンを繰り返している。

今期の観察結果は次表のとおりであり、8月にコロニー直下の住民から防鳥目玉風船7個が取り付けられたが、ヒメアマツバメの生活には特に影響を与えてないようであった。

(観察者: 川上 恵)

調査月日	状 況
7. 24	約35羽6時15分から7時00分までの間に飛び立ち。 6羽が残留、巣に出入り。 12時30分頃4~5羽が巣に出入り。
8. 25	約40羽5時50分から7時頃までに飛び立ち。 6羽が残留、巣に出入り。昼間観察しなかった。 防鳥目玉風船7個が高架下に取り付けられているのを発見。
9. 17	約40羽5時50分から6時50分までの間に飛び立ち。残留なし。 昼間4羽が巣に出入り。
10. 22	約40羽7時50分から8時30分までの間に飛び立ち。残留なし。 昼間(13:00~13:20)巣の出入り確認できず(無し)。
11. 24	約40羽7時30分から8時10分までの間に飛び立ち。残留なし。 昼間観察しなかった。
12. 22	約40羽7時55分から8時30分までの間に飛び立ち。残留なし。 昼間観察しなかった。



(夫味谷辞: 貴文)

川口川のサギのコロニー (第2報)



かわせみNo. 11 で報告した川口川のサギのコロニーのその後の調査状況について報告する(北平章)。

1: 場所 前回と同一
93年3月末より見られなくなったが、10月に入り突然現れる。

2: 種類と数 時間は夕方日の沈む頃 (PM4:30) 但し12月5日を除く。(1993年)

日 時	天候	コサギ	ゴイサギ	日 時	天候	コサギ	ゴイサギ
10.13	曇り	8	0	11.19	曇り	1	0
15	"	0	0	24	晴れ	0	0
19	"	1	0	26	曇り	4	0
21	"	0	0	29	"	0	0
25	晴れ	0	0	12.1	"	4	0
27	"	0	0	3	"	3	0
11.1	"	0	0	5	晴れ	0	2
4	"	2	0	7	曇り	3	0
8	曇り	4	0	15	快晴	2	0
10	"	4	0	17	"	0	0
12	晴れ	1	0	21	曇り	7	0
17	"	0	0	24	晴れ	3	0
18	"	3	0	27	"	5	0

11.24: 東側の草刈られる。

11.29: 葉が殆ど無くなる

八王子の鳥たち (環境を考える一つのヒントとして)

八王子西ロータリークラブは標記の冊子を平成5年10月発行した。絵と文は同会員の小宮真治氏で、八王子カントリークラブの会報に連載されたものをまとめたものである。同ゴルフコースでプレイ中に見られる鳥を中心に30数種について種類別に自筆の絵付き解説がなされている。この中にはアカショウビン、サンコウチョウ等稀少種についても触れられているが、全般的に現在だけでなく、著者の少年時代、戦前の八王子の鳥の様子(種類、数、習性、人との関係、環境等)を伺い知ることのできる貴重な資料である。

「全編にわたりほとばしり出ている小宮さんの自然と鳥達に対するみずみずしい関心と愛情に強い共感を覚えられたことと思います」という編集者の後記に尽きるが、描かれている野鳥がすばらしく見事で、文章も簡潔でわかりやすくまとまっている。一読をおすすめします。(文責: 粕谷和夫)



片倉城跡公園の巣箱状況

平成元年（1989）1月に巣箱を架設して5年が経過した。平成5年12月12日、本年の利用状況調査と巣箱の清掃を会員有志が行った。5年間の利用状況と本年の結果を以下に示す。

1. 周囲状況

八王子市建設部公園課が管理する都市公園で、面積は39,272m²である。湯殿川に面し、涌水池・湿地・コナラ等の雑木林を配した丘陵地で、頂上は芝生広場となっており、比較的自然環境の良い公園である。

2. 5年間のシジュウカラ利用状況

年次	巣箱数	利用数	利用率
1989	14	3	21%
1990	13	4	31%
1991	14	8	57%
1992	14	7	50%
1993	23	9	39%

3. 本年のシジュウカラ利用状況の概要

(1) 周囲状況

利用された巣箱の公園内の位置を下に示す。道路に近い巣箱が多いように思われる。

(2) 巣材

利用した巣を割ってみると、大部分はコケ（トヤマシノブゴケ・ハネヒツジゴケ・ミズシダゴケ）でその他犬の毛、羽毛、綿、糸くず、シュロの皮があった。

公園の案内図 利用地に巣箱の位置



(3) ねぐらとしての利用

糞が巣の中にある事から、シジュウカラがねぐらとして利用していたと思われるもの(3個(No.9,14,50))があった。

(4) 巣穴の被害

昨年同様、今年もキツツキ(アオゲラかコゲラか不明)による穴の拡大(1個(No43))が認められた。

なお、1992年以前の利用状況は"カワセミNo.10"を参照下さい。

4. 個別の巣箱利用状況

個別の巣箱についての利用状況を次表に示す。

表 4年間の利用状況

番号	巣箱提供者	1992	1993 利 用 状 況		
				巣箱の口	状 況
1	門口 一雄	○ ねぐら	○	東	周囲木がなく、人が通る所
3	阿江 範彦	○ 穴の拡大	×		
4	斉藤 高昭	○ ねぐら	×		
5	清水 茂	○ ねぐら?	×		
6	藤江 豊	×	×		
7	平沢 辰夫	×	×		
8	川上 恚	○ 穴の拡大	×		
9	粕谷 和夫	×	△		ねぐらに利用
10	三好 恒雄	×	×		
11	坂東 達也	×	○	西	光が巣口に入らない
13	田中 英吉	○ 穴の拡大	×		ふんだけ
14	榛沢 務	○ ねぐら, 穴大	△		ねぐらに利用
41	今井 達郎	紙製 12月架設	×		
42	川戸 恵一	12月架設	○	東	前に木がない
43	川戸 恵一	12月架設	○	東	巣穴が拡大
44	小笠原敏子	12月架設	×		
45	小笠原正顕	12月架設	×		
46	大関 豊	12月架設	○	東	ヤマガラ利用、道の傍ら
47	山崎 悠一	12月架設	○	南東	道の傍ら、近くに外灯
48	馬場 裕	12月架設	○	北東	
49	三富 恒男	12月架設	○	南南東	道の傍ら、近くに外灯
50	湯原 直彦	12月架設	△	東	ねぐらに利用
51	粕谷 和夫	12月架設	○	北	塩ビの管、道の傍ら

(注) ○: 繁殖に利用した。△: ねぐらに利用。×: 繁殖に利用しなかった。

穴の拡大: キツツキに穴の周辺をつつかれて出入口が拡大されたもの。

(三富 恒男)



タカの渡りのルートが八王子にもあった

粕谷 和夫

秋はワシタカの渡りの季節、伊良湖岬を渡るサシバの渡りは有名であり、最近になってハチクマの渡りルートがサシバより内陸部にもあることがわかってきた。八王子近辺では西多摩郡瑞穂町六道山（狭山丘陵の西端）でタカの渡りが観察されているので、この流れがたぶん八王子の丘陵か山際を通過するのではないかと以前から推測していた。

そこで、予備調査を行うこととし、9月の定例探鳥会に参加した会員に呼び掛けて1993年9月26日（日）に4班に分かれて調査した。

調査地は陣馬山、高尾山金毘羅台、八王子城山、滝山丘陵国民宿舎前、お互いにアマチュア無線で連絡を取りながらタカの出現をまった。

この日は前日の曇天から一転して快晴となり、絶好のタカの渡り日和となった。結果は滝山班が滝山丘陵の上空を旋回しながら上昇し、南西方面に向かった100羽のサシバを捕らえ、城山班が小仏峠方面へ向かうその一部を観察し、東の方向に眼を向けていた高尾山班及びルートから遠かった陣馬山班の所には現れなかった。この位置関係を地図におとすと次のようになり、滝山丘陵で上昇気流をとらえたサシバは南西方向に進み小仏峠から相模湖方面に抜けたのではないかと推定される。若しこのルートを通ったとしたら東に眼を向けていた高尾山班と北に位置していた陣馬山班がサシバの鳥影を捕らえなかったことが理解されよう。しかし、これは一日だけの調査結果であり、これだけでルートを判定できるものではなく、来年以降継続調査をする必要があると思われる。

4カ所の調査地点（*）とサシバの飛んだ方向（'93.9.26）





日本野鳥の会誌「野鳥」'93年9・10月合併号にサシバの渡りのルートが載っているが、神奈川以西のルートであり、東京以北については未だ十分に解明されていないように思われる。

本年は、八王子でサシバの渡りを確認できたことだけでも大きな収穫であった。滝山丘陵で捕らえた10時14分の22羽と10時40分の52羽の群は圧巻であった。

なお、今年の調査では各班の相互連絡にアマチュア無線が大いに威力を発揮した。今後無線技師の資格を取得する会員がふえることを期待する。

本年の調査参加者及びサシバの出現状況は次のとおりであった。

タカの渡りルート調査参加者 ('93.9.26)

チーム名	人数	会 員 名							
滝山丘陵	8	粕谷	島田	竹沢	湯原	福島	北平	小池	清水
八王子城山	5	今井	古山	久保田	古川	川上			
高尾金毘羅台	6	馬場	関根	横山	木村	小塩			
陣馬山	5	山崎(久)	阿江	大関	河村(道)	河村(洋)			

サシバの出現状況 ('93.9.26)

時 刻	滝山丘陵		八王子城山		高尾金毘羅台		陣馬山	
8 時	32 分	1 羽						
9 時	41 "	1 "	50 分	1 羽				
	50 "	1 "						
	57 "	7 "						
10 時	02 "	1 "	32 分	10 羽				
	03 "	1 "						
	04 "	1 "						
	14 "	22 "						
	34 "	1 "						
	40 "	52 "						
11 時	59 "	1 "						
	12 "	1 "	10 分	1 羽				
	34 "	4 "	27 "	1 "				
12 時	43 "	1 "						
	19 "	3 "						
13 時	59 "	1 "						
	25 "	1 "						
合 計	100 羽		合 13 羽		確認できず		確認できず	

バードソン予行演習探鳥会の 実施結果

バードソン本番予定日('94年12月4日)の1年前にあたる'93年12月5日に標記探鳥会を行った。浅川全流域を10地区に区分(第1表)し、9チームが参加して朝7時から夕5時まで10時間連続してバードウォッチングを実施した。

当日は晴天に恵まれ、総勢38名が参加し、合計68種の野鳥を記録した。この内8地域以上に出現した野鳥は21種(カルガモ、キジバト、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス)、2地域以下でしか出現しなかった野鳥は21種(カイツブリ、アオサギ、クロトキ、オカヨシガモ、オオタカ、ツミ、ノスリ、チョウゲンボウ、キジ、バン、イカルチドリ、ハマシギ、ヒメアマツバメ、ヒバリ、ビンズイ、カワガラス、ククイタダキ、コガラ、ミヤマホオジロ、マヒワ、シメ)であったが、アオサギ、チョウゲンボウ、キジ、イカルチドリ、ヒバリ、ビンズイ、シメについては今までのデータから推測してもっと多くの地域でも出現すべきものと思われた。なお、カワセミは7地域で出現したが、ヤマセミは出なかった。

当日の参加者及び全体の集計結果は次の1・2表のとおりである。

(文責 粕谷和夫)

第1表 バードソン予行演習探鳥会参加者

地 域 名	参加者数	参 加 者 名
1. 川口	3	三好恒雄、北平 章、川戸恵一
2. 美山・小津	4	粕谷和夫、馬場 裕・百合亜、栗原 勝
3. 上恩方	4	門口一雄・裕子、湯原直彦、竹沢ひろみ
4. 下恩方	} 3	今井達郎、関根伸一、小池一男
5. 元八王子		
6. 裏高尾	2	河村道寛・洋子
7. 表高尾	4	川上 慧、大関 豊、久保田ヤス子、志村 進
8. 八王子中央	7	榛沢 努、田中英吉、小山万太郎、 本島てるみ、横山由美子、福井司郎・雅美
9. 由井	4	峰崎 実、熊坂政晃、木村正子、三富恒男
10. 日野市	7	山崎悠一・久美子、由木鎮夫・育子、 小塩菊子、谷井正剛、阿江範彦
合 計	38	

第2表 バードソン予行演習探鳥会全体集計結果

番号	名称	川口	美山 小津	上恩	下恩	方元	八王 子	裏高 尾	表高 尾	八王 子 中央	由井	日野	合計
005	カツブリ						○					○	2
040	カイツギ	○								○		○	3
052	ゴイスギ	○					○			○		○	4
057	ゴイスギ	○								○		○	4
059	コオサギ	○			○		○		○		○	○	7
062	アオサギ										○	○	2
069	クロトギ											○	1
087	クマカモ	○					○			○	○	○	5
088	カカガモ	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	10
089	コカガモ	○					○			○	○	○	6
092	オオシロシガモ									○		○	1
093	オオシロシガモ									○		○	3
095	オオシロシガモ	○								○	○	○	4
097	オオシロシガモ						○				○	○	3
120	トビ		○	○								○	4
123	オオミズタカ				○								1
125	オオミズタカ												1
129	ノスリ		○										1
145	チヨウゲン					○						○	1
149	チヨウゲン	○				○					○		4
151	キジ			○									1
167	バン											○	1
177	イカチドリ											○	1
196	ハマシギ						○					○	1
218	ハイソシギ									○		○	3
245	ユリカモメ	○								○	○	○	4
246	セセリカモメ	○								○	○	○	4
296	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
319	ヒメアマツバメ												1
326	ヒメアマツバメ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	7
331	アオゲラ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
339	コヒバリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
344	ヒバリ											○	1
354	キセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
355	キセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
356	セキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
360	ヒヨドリ		○										1
363	ヒヨドリ	○								○			3
367	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
369	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
375	カワサギ				○								1
376	カワサギ		○					○			○		5
386	ルビキ		○	○	○	○	○	○	○	○		○	4
387	ジョウビタキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
405	ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
410	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
424	クナギタダキ			○	○	○	○	○	○				6
435	クナギタダキ	○	○	○	○	○	○	○	○		○		1
438	コガラ			○	○	○	○	○	○				2
439	コガラ			○	○	○	○	○	○				3
440	ヤマガラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
441	マジウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
444	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
449	ホシロジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
455	カシラダカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
456	ヤマホシロ												1
461	アオジ	○	○	○	○					○	○		9
462	クロジ			○				○					3
471	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
472	マヒワ											○	1
485	イカル	○	○		○							○	4
486	シメ				○						○		2
488	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
493	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
496	カケス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
498	オナガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7
503	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
504	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
A	アダビロ					×	×			×	×	×	
B	アダビロ	×				×	×		×	×	×	×	
	アイガモ										×		
	種類合計	39	32	33	30	26	22	32	32	39	51	68	



浅川に「ワンド」が戻った

(かわともクラブ「浅川を見に行こう!」に参加して)

粕谷 和夫

1992年秋TAMAらいふ21・多摩川クリーンエイドの一般公募で集まった10代から70代、約60名の多摩川ゴミレンジャー、この中から「多摩川を中心に歩いて、見て、知って、もちろん遊んで」という「かわともグループ」が誕生した。

このかわともグループが「浅川を見に行こう!」を企画し、'93年8月22日(日)に浅川の下流部として多摩川合流部から一番橋までの日野市側約5Km、9月5日(日)に浅川の上流部として鶴巻橋から陵北大橋までの八王子市側約5Kmを見てまわった。

小生は両日共に参加し、浅川について学ぶことが多かったのでその概要を報告する(ワンドとは川の流れの一部が蛇行等により池のようになり本流とつながっている場所。小魚等にとって安定した住みよい所でカワセミの絶好のエサ場となる。)

8月22日は魚類研究家君塚芳輝氏と浅川勉強会山本由美子氏が案内した。主要ポイントは3ヵ所。①程久保川が浅川に合流する所にワンドが戻った。程久保川は日野市の都市化の進展と共に護岸改修工事が進められ、堤防は高く、直線で築堤されたため子供たちが川へ降りて遊ぶことはもちろんのこと川の様子を見ることさえできなくなってしまった。人間にとっても生き物にとっても良い状態ではない。

そんな中、水環境問題に関心が高まった市民の中から「ここにワンドを掘ろう」との一石が投じられ、建設省を動かし、日野市に予算化させ、1級河川の堤防に穴を開け、ワンドを作ってしまったもの。

②日野市のランドマーク浅川ふれあい橋へ続く向島用水の一部が変身して潤徳小学校裏庭にワンドが作られた。これは多自然型川作りの考え方に沿って用水路のコンクリート護岸を取り壊し、隣接する小学校の庭を掘って土の護岸のワンドを作ったもの。子供たちは早速休み時間にここへ来て水遊びをし、カワセミやコサギも住み付いた。③七生中学校の校庭の片隅からコンコンと湧き出る泉、これが一番橋上流側で浅川に注いでいる。これが何となく注ぐのではなく、浅川の河原の中に意識的に作ったワンドを経由させているところが注目点だ。

9月5日は八王子ランドマーク研究会の石田幸彦氏と同関谷眞一氏が案内した。主要ポイントはやはり3ヵ所。④北浅川と城山川が合流する当たりのメタセコイヤ化石群。29株の化石が川底にある。⑤叶谷町、泉町の湧水群とその湧水に続く清流の水路。八王子にもこれ程きれいな清流があったのかと驚く。自然のままの叶谷湧水池と人工化して生気を失った泉町湧水池のみごとな違いを比べられる。⑥上壺分方小学校付近の北浅川の浅川溪谷、この部分だけが固い岩に囲まれた溪谷美、近所の子供たちが大勢水遊びに来ていた(彼らを「水ガキ」といい川の健康度の1つの指標となるそうだ)。

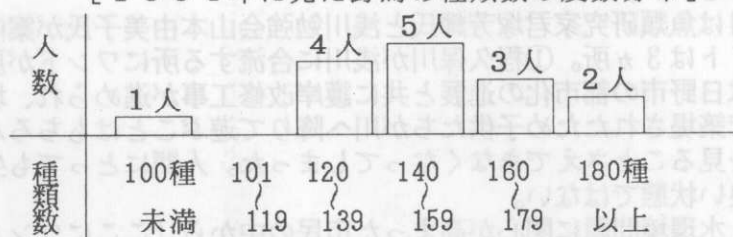
2日間を歩いて日野市側の自然復元に対する強力な取組とこれに比べて八王子市側の遅れ、両市の行政の取組の違いを実感した。

最高は182種（昨年1年間に見た野鳥）

バードウォッチングの楽しみ方は様々であり人によって異なるが、四季を通じて多くの種類の野鳥に出会う楽しみはバードウォッチングの基本であり、その際何種類見たかを記録しておけば楽しみは倍加するとともに、その人のバードウォッチングライフを一層充実させると思われる。

本会の会員は1年間に何種類の野鳥を見ているか。昨年1年間に日本国内で見た野鳥の種類数とベスト10のリストを1月9日の総会時に持ち寄ってお互いに交換した。リストを提出した会員は15名で、内訳は次図のとおりであり、最高は182種、平均は149種であった。今回提出した人は比較的多くの種類を見た人に偏ったのではないかと思われる。来年以降は自分が見た鳥を記録しておくということを習慣づける意味からも、もっと多くの人（特に100種以下の人）のリスト提出を期待する。

[1994年に見た野鳥の種類数の度数分布]



なお、ベスト10のリストの内から浅川の大沢橋（恩方）から多摩川合流（日野市）に地域を限定して、稀少種を中心に12種をピックアップし五十音順に並べてみたら以下ようになった（文責 粕谷 和夫）。

- アオバズク（2羽、5月上旬、浅川橋）
- アカエリカイツブリ（1羽、10月31日、多摩川合流付近）
- アカエリヒレアシシギ（♀1羽、5月8日、暁橋～大和田橋）
- イソヒヨドリ（♀1羽、12月12日、新浅川橋）
- オシドリ（♀1羽、5月4日、万願寺橋。
♂♀番い、10月31日、陵北大橋）
- カオグロガビチョウ（2羽、9月11日、大沢橋～松竹橋）
- カウウの大群（600羽の群、11月20日、多摩川合流付近）
- カンムリカイツブリ（夏羽1羽、5月～8月、浅川橋～万願寺橋）
- ヤマセミ（1羽、3月6日・18日、大沢橋下流側。
1羽、8月21日、多摩川合流付近）
- タゲリ（1羽、2月14日、万願寺橋下流側）
- トラツグミ（5月上旬、小田野）
- ハマシギの群（120羽、12月5日、多摩川合流付近）

ウォッチング・コーナー

霜 日 和

川上 美穂子

必死に枝にしがみついていた数枚の梅の葉が、とうとう今朝は、一枚もなくなっていた。

躰には薄い氷が光っている。先ほどから、ネクタイを着けた、ダンディーな四十雀が二羽、給餌台の向日葵の種を啜って近くの木斛の枝に運んでは、皮を剥いて食べている。

梅の枝に十羽ほど止まっていた雀が、礫のように地上にこぼれ落ちた。防寒のため羽の中に空気を貯めて、脹らめるだけ脹らんでいる。

鶺鴒は、山に木の実が残っている間は庭に来ない。やがて山に木の実がなくなると、一斉に庭に現れる。

わが家のピラカンサも朱の色を極めているが、一旦鶺鴒の大群に見つかればひとたまりもない。わずか一日足らずで、丸坊主にさせられてしまう。その後は、彼らの黒い糞の置き土産が、庭に点々と残る。

鶺鴒の鳴き声は「いいよ、いいよ」と、まるでお互いに遠慮し合うかのように聞こえるが、どうして実に傍若無人に振る舞うのである。

日の当たる籬では「チャッ、チャッ」と、笹鳴きが聞こえる。しかし姿はめったに見られない。

私も「茶」が飲みたくなる。

慎重しく、上品なのは目白である。そして必ず夫婦でやって来る。蜜柑や林檎を切って枝に刺しておくのと、逆立ちしながら上品に啄む。しかし、どこからともなく鶺鴒が現れて、目白を追い払い、行儀悪く食い荒らす。

鶺鴒も生きてゆく上では必死なのだと分かっているながら、私たち夫婦は目白

に身びいきしてしまう。

鳥籠の中に蜜柑を入れ、入口を目白が出入り出来る分だけ開けておく。目白は籠の中で安心して蜜柑を啄み、鶇は外で歯ざしり噛んで悔しがる。

—私たちは罪悪感に苛まれて、林檎を木の枝に刺してやる。鶇はすぐにやって来て齧り、残りは啜えて飛んで行く。

こうして私たちの林檎の半分は、鶇たちにご馳走するのである。

四十雀は、向日葵の種を好む。嘴で上手に皮を剥いて食べる。それがここ二年ほど前から、我が家へ来る雀たちも、向日葵の種の皮を剥いて食べるようになった。

異なるのは、四十雀は所定の場所で、向日葵の種の皮を剥いて食べるが、雀は所かまわず種を持ち出して剥いて食べる。

四十雀は初夏のころ、庭木に掛けてある巣箱に卵を生み、雛を育てる。時には、盛夏のころに、二番子を巣立たせることもある。その後はしばらく庭姿を見せなくなる。

雀は一年中庭に来ているが、秋の実りの頃、しばらくの間現れなくなる。

田んぼに稲が実り、川原や野原に稲科の植物が実るころである。それを食べ尽くす秋の終わりのころから、冬の間が一番多く庭に来る。

雛鳩は一番だけが、我が家の一員のようになっている。よく馴れていて、物干し竿に止まっている。私が隅の方を借りて、干し物をして逃げようとしめない。先日から一羽の方が、右指の一本が切れてなくなっている。心なしか顔色が冴えない。もう指は生えて来ないのだろうか。

鶇も、日に何回か庭に来る。「クッ、クッ」と鳴きながら、早朝の庭を散歩する。

今日は、始めて霜柱が立った。旧式なストーブの上で、豆の煮える匂いがしている。

平成五年十二月



明治の森、高尾薬王院周辺に於けるムササビ観察会へ同行させて頂き、貴重な初体験を得る。野生ムササビ観察に当たり、前もってムササビの特性を確認する。リス科で哺乳類、小獣との事であり、高い森林に生息する。

さて、薬王院釣鐘堂の鐘が午後6時を打つ。その頃より出没时间と場所の情報飛び交う。情報を整理すると、釣鐘堂に隣接する楼の天井に複数匹住着。午後6時30分頃、楼の腕木の隙間部より出没し鳴き声の後に飛ぶ。参加者の双眼鏡は、腕木部の隙間へ角度が揃う。出没を待つ張り詰めた時間が経過する。眼球がチクリと痛む。

午後6時50分頃、「アー出た！。ウワー！ヤッター！・・・」参道に歓喜が漂う。ムサ君（愛称）は、懸命に毛づくろいを始めた。滑空前の緊張を緩和させるべく準備である。所詮、つばさを持たぬ動物が前足と後足の間に設けた皮膜で滑空し、尾で方向を定める誠に単純な構造である。滑空に失敗する事もある？。時には上昇気流により150メートルほど滑空するという。何時滑空に入るか？一寸の隙もなく心の高まりを感じる。時折、集光性の目玉がビー玉の様に観える。午後7時3分頃、ギャ、キャ、と毛鞠の様なムサ君が氣勢を発し（鳴き声）数メートル滑空、櫛の木の茂みに消える。

「ヤッタ！ スゴイ！ 残念！ 見逃した！」私も童心にかえり初めて観る野生ムサ君の滑空に歓喜をあげた。同行の家族も同様である。冬期ジャンプ競技の光景が脳裏を走る。孫娘はタヌキが空を飛んでいる様なものと身勝手な言い分に苦笑した。人間を含む動植物は、総て一体構造空間にあるのではないか？などと考えつつ帰路につく。

ムサ君有り難う。長雨、低温の悪気候にめげず頑張ってください。

8月8日付新聞による

東京最高気温	24.3度
東京最低気温	19.1度
東京平年気温	31.5度

役員の方々には大変お世話に成り感謝申し上げます。

[確認した野鳥] 22種 [参加人数] 23名

10月定例探鳥会 (多摩川滝山下)

三富 恒男

1. 「ワーすごい。ツバメの大群だ。」みんなの顔は、いっせいに青空に飛ぶツバメの大群に向けられた。「腹が白く見えるぞ。」「いや赤く見えるよ。」「尾が分かれているか。」「大きな翼だ。」と、種々の声が飛び交う。結果は、アマツバメ、ショウドウツバメ、コシアカツバメ、ツバメ だった。
 2. 10月10日多摩川滝山下での探鳥会だ。此の時期にこんなに多くの種類のツバメを見たのは初めてだった。
 3. 北方の空の黒点がやがて大きく見えて来た。ヒヨドリだ。60羽程度の群れで幾組も南の方に飛んで行った。「伊良湖岬の方に行くのだろう。今日はどの付近まで行くのだろう、無事に行ってほしい。」
 3. 「わーかわいい。」ノビタキの秋の渡りに出会った。餌との関係か飛び立っても、すぐに元の位置に止まるので割合ゆっくりと観察出来た。頭の黒いのは強そうだし、赤褐色の頭のは、目が美しい。雌雄は此の時期では区別するのが難しいとの事。
- 以上が今回のベスト3だ。全体では34種を見る事が出来ました。

滝山下の探鳥会は、道が悪く、特にカヤ、オギ、ススキの生い繁る中を潜ったり、これらの植物の茎が倒れた上を足をとられながら歩いた。多くの方は長靴だが、短靴の人の為に所々の水溜まりに石を置いて道を作ったり、急な斜面を登る時には、手を引いてくれたり、本当に心の暖かな人々の集まりだ。いつも探鳥以外に学ぶ事が多い素晴らしい会だと思っています。

残念だったのは、落ち鮎を釣る為に川に入る人が多いので、見られると思っていた鳥が見られなかった事です。釣り人側から考えれば勝手な言い分かな？。

【確認した野鳥】

カイツブリ	コチドリ	カワセミ	ハクセキレイ	シジュウカラ	オナガ
ダイサギ	イカルチドリ	コゲラ	セグロセキレイ	ホオジロ	ハシボソガラス
コサギ	クササギ	ショウドウツバメ	ヒヨドリ	カララヒリ	ハシブトガラス
アオサギ	イツギ	ツバメ	モズ	スズメ	ドバト
カルガモ	キジバト	コシアカツバメ	ノビタキ	ムクドリ	以上 34種
トビ	アマツバメ	キセキレイ	ウグイス	カケス	参加 29名



丹沢方面探鳥会に参加して



志村 進

10月24日雲一つ無い絶好の好天気、丹沢方面探鳥会に参加させて頂き、総勢20余名の会員の方々と車に分乗し午前7時出発。先ず、日向薬師に向かう。到着早々ジョウビタキが一羽、屋根のアンテナに止まっている姿を最初に見る事が出来た。胸の茶色の毛が、朝日に輝いた様に見える素敵だった。薬師の参道を登るにつれ、野鳥の鳴き声が耳に入るが、私には何の野鳥の声か判別する事が出来ないが、会員の方々の説明を聞き、ガイドブックを開きどうやら納得することができる。

日向薬師よりヤビツ峠に向かったが、峠は紅葉の季節で、行楽客の車で駐車場は満杯、直行で札掛に向かう。四十数年前丹沢縦走をした時、道に迷い夜小さな小屋に辿り着き一夜を明かしたのが札掛の営林署の小屋だった。今日は思い出の場所で探鳥できる事は無感量である。札掛森の家より三十分程登り一休みしていると、犬に追われた野生の鹿二頭が山を駆けおりて行ったが、どこまで追われて行くのか。しばらく行くとアオゲラが出たとの声で、先ず、双眼鏡でみると、枯れ木の梢にアオゲラが二羽見えた。頭頂の赤、肩の緑見事な色彩である。急いでスコープに切り替えようとしたが、未だ素人なかなか入らない、見かねたベテラン会員の助けを借りゆっくりと観察する事ができた。綺麗な色を身につけた鳥である。いつまでも見ていたい気持ちで下山した。

今日は、23種の野鳥が観察されたが、私には数種確認出来ただけであった。しかし、今日は初参加の私にとって、楽しく、そして、満足の一日でした。帰路は河村様の車の中で、更に野鳥のお話等いろいろ伺いながらの帰路でした。会員の皆様、今後とも宜しくご指導願います。

〔確認した野鳥〕

トビ	ヒヨドリ	ヒガラ	スズメ
キジバト	モズ	ヤマガラ	カケス
アオゲラ	ミソサザイ	シジュウカラ	オナガ
コゲラ	ジョウビタキ	メジロ	ハシブトガラス
キセキレイ	ウグイス	ホオジロ	ハシボソガラス
セグロセキレイ	コガラ	イカル	(ヒタキSP)

以上 23種+1

〔参加人数〕

21名

2度目のバードウォッチング

(1993年11月3日 渡良瀬遊水池探鳥会参加記)

今村 和子

文化の日の11月3日、集合場所の八王子駅改札口に向かう。ハイカー姿の人があちらこちらに。果たしてどの人達が、カワセミの人達なのか不安。なにしろ2月14日の浅川公開探鳥会以来、生まれて2度目の参加なのだから。

あの、世にも寒かった2月14日の朝、家からほんの数分の浅川べりでバードウォッチングなるものを初めて体験し、こんなにもいろいろな鳥が身近かに生きているのかと、驚き興奮し、すぐその場で会員申し込みをしたものの、にわかウォッチャー身につかずで、後はずっとご無沙汰。そのうち家の増改築、子供の留学などなど家事にとりまぎれているうちに、夏には乳ガンと診断され手術を受けるはめになり、数か月は療養生活。バードウォッチングどころではなかった。そろそろ体力も戻ってきたし、秋の野も気になるし、田中正造ゆかりの地、渡良瀬遊水池にも興味があった。しかし、術後はじめての遠出に不安もあり、門口さんに電話を入れたところ、すでに下見に行っていて（感激！！）現地の様子を親切に説明して下さり、途中で落伍しても大丈夫そうなので、勇気を出して、申し込んだのだった。

さて、6時58分出発、西国分寺で乗り換え。電車待ちのホームから、テレビアンテナにとまっている小鳥をさっそく「モズ」とウォッチ。さすがにみなさん、ただ電車を待ってはいない。私ときたら、双眼鏡をのぞいても、スズメとの区別もつかない。お恥ずかしい限りだが、ま、そのうち分かるようになるだろうと、焦らないことにする。何回も電車を乗り換えて（全くはじめての方面なので、みなさんの後についていくだけ。一体どこへ進んでいるのかも分からない）、藤岡なる駅に着いた。

近頃目にしたことのないような、何とも侘しいたたずまいの駅前で、タクシー分乗の予定とかがあったが、タクシーなどは見当たらず、歩き出す。勤務先の筑波から車で現地合流した粕谷会長が、何回かピストン輸送で乗せて下さる。ありがたい。全く初対面の方々なのに、バードウォッチングという共通の目的を持つだけで、こんなにすんなりと、親切にしてもらえると、すなおにうれしい。

いよいよウォッチングの出発点の土手の上に立つ。「日本の天地砕けたり」と田中正造が慷慨した谷中村強制撤去の歴史の先入観から、何となく陰気な陰りのある風景を想像していたのが意外なほど、明るく、ちょうど頃よく晴れ渡ってきた360度の全天の下、見渡す限りの葦原と湖で、のどかさ

満ちていた。

茶色に枯れた葦の葉の間から飛び立ち、すぐまた葉の中へ飛び込んでしまう小鳥たちにすぐ「ナニナニ」と名前が飛びかう。私には、一瞬の黒い鳥影としか分からずじまい。2月の浅川べりの陽だまりに、じっとしていた水鳥たちを望遠鏡でじっくりとウォッチしたのとは大違いだ。私にもじっくりと観察できたのが、カラスとチョウゲンボウの大空のドラマだった。持っている獲物を横取りしようとするのか、いじめなのか、縄張りなのか、それとも単なる遊びなのか、はるか向こうの木立の上で、数羽のカラスがやや細みでシャープな姿のチョウゲンボウをしつこく追いかける。双眼鏡でのぞいていても、チョウゲンボウが力尽きてしまうのではないかと思う程必死に逃げるのに、見逃そうとしない。何分ぐらいみていたろうか、ついには、遊水池から飛び出し、はるか遠くの上空でまだ続いている。仕方がない。自然の争いは、自然に任せて、歩き出す。

あとは、チュウヒとかハイイロチュウヒとか、初めてお耳にも、お日にもかかった鳥がこれ又カラスと一緒にいるところを、スコープでのぞかせてもらった位しか私の目には残らず、旧谷中村役場跡の小さい丘の上で昼食。

まわりは、マイカーでやって来た人達が大勢、アウトドア活動中。そういえば、外国からの参加者も交えて、バイアスロン（トライアスロン？）競技会も行われていた。みなさんは、食後、周辺のウォッチングへ。私は荷物番を兼ねて休息。ポカポカと気持ちよく、そのうちナップザックを枕に、昼寝まで楽しんでしまった。

午後は、谷中湖を三分する横断道を渡って水鳥をウォッチ。休日の浚渫船の上に並んで、まるで工機の一部のようにじっと止まっているアオサギの群れが印象的だった。通り道や橋の傍には、ほとんど水鳥の姿はなかったが、双眼鏡でのぞくと、人間のいない向こう岸には、浜辺の砂の様に鴨の群れがぎっしりと水に浮かんでいるのが見えた。

足尾銅山の鉱毒に関わりのある暗いイメージからは全くかけ離れた、あまりにもモダンに様変わりをとげている渡良瀬遊水池に、時代は確実に違ったのだと感を深くした。悲劇の歴史が残した遊水池が、現在細切れな開発から自然を守る結果になっていることが、歴史の皮肉のようにも思えた。ただ、親水多目的ゾーン、スポーツゾーン、等々レジャーを目的として、あまりにもコンクリートを多様した整備がなされすぎて、水鳥たちがホッとするような水辺の自然が失われているように感じたのは、私だけではないようだ。

最後に、スポーツゾーン脇の広場で鳥合わせ。何と、39種もウォッチされたそうだ。私の頭に残ったのは、せいぜい10種ぐらい。ま、いいか。ベター・ザン・ナッシングだ。 [出た鳥] 39種 [参加人数] 21名

《年末探鳥会》 三番瀬・谷津干潟探鳥会報告

八王子市狭間町 加藤 岸男

☆期 日 平成5年12月31日(大晦日)
☆場 所 千葉県船橋海浜公園(三番瀬)・谷津干潟
☆参加者 17名(内3名は途中参加)
☆コース

八王子駅

(京葉線・二俣新町駅)

海浜公園
(三番瀬)

(京葉線・南船橋駅)

八津干潟

(京葉線・中央)

中央線電車

《集合 7:00》

数日続いた寒気が去って、いつになく暖かい日和り。カワセミ会の探鳥会へは5回目の参加。大晦日だというのに十数人を越える参加者がいることに驚く。三好氏によると“昨年をもって大勢でしたよ”とのこと。多分私のように、昨日までに大掃除や障子張り等の“仕事”を片付けたんだな、と納得する。

《探鳥時間 9:15~10:20》

バスを30分程待つ間にも、ツグミやオナガが出現。三番瀬は予想通りの強風。しかし、直ぐに目当てのミヤコドリが5羽波打際で採餌している姿を見られた。赤い嘴、頭・胸・背・翼の上面に続く黒、胸・腹・腰・翼の舌た面の白の3色のコントラストの微妙さ。

問題は、ダイゼンかオバシギかの識別。結論は“シギ類の識別は難しい、特に冬は!”ということだった。

《探鳥時間 11:00~14:00》

午後からの空模様を気にしながら八津干潟へ。逸る気持ちの原因は、ソリハシセイタカシギ。それは小さな中州の東端にいた。“気品”とはこういう姿をいうのだろう、と思う。嘴の反り具合が何ともいいようがなく美しい。皆、暫しただ見惚れる。

昼食後、ズグロカモメ等を見ながら干潟を一周する。観察センターももうすぐ完成のようだ。あと僅かの所で驟雨。ソリハシセイタカシギの気品などのことは忘れ、駅へと走った。駅で鳥合せ。

京葉線から中央特別快速に乗換る。話をする方、居眠りする方。今日は大晦日であることをようやく思い出す。来年の鳥運の良きことを願うのみ。それにしてもソリハシセイタカシギは優雅だった。

《解散 16:00頃》

☆確認した鳥 (網かけ ベストスリー)

ヒヨドリ、オナガ、ツグミ、ハクセキレイ、スズメ、モズ、ムクドリ、ミヤコドリ、シロチドリ、ハマシギ、オナガガモ、ヒドリガモ、ミユビシギ、ダイゼン、スズガモ、カワウ、セグロカモメ、ミミカイツブリ、メジロ、タヒバリ、キリアイ、キンクロハジロ、ズグロカモメ、トビ、アオジ、カモメ、セイタカシギ、ソリハシセイタカシギ、ハシビロガモ、ホシハジロ、ユリカモメ、コガモ、ダイシャクシギ、トウネン、チョウゲンボウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、カルガモ、キジバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス

以上 42種

バードソン体験記

馬場 裕

バードソンとは正に言い得て妙だったのが12月初旬の美山・小津地区の長時間探鳥でした。参加者はわずか四人、しかも午後からは一人減り、バーディング中はすべて歩いて各所をまわったので、予行演習を終えたときにはホントにグッタリでした。出た鳥は僕の好きな山の鳥が殆どどの32種です。

でもその一方で、久々に何処もくまなく探鳥したなあ、という充実感を憶えたのも事実でした。前から、野鳥誌などでバードソンの模様を見聞きしたり、周りの人達からもそのやり方を教えられていたのですが、今回は大分内容を異にしていたように思います。ヘルパーの方々の応援はなく、沢山の場所を車で移動しながらの探鳥でもありませんでした。たった一回の経験で、こんなことを言うのは気が引けますが、私たち自身の手作りで初めての試みとしてはまずまずの出来ではなかったでしょうか。勿論、今後の課題はいくつもあります。

- (1) 出現が予想される鳥種・探鳥場所のマップづくりと移動経路。
- (2) 参加人員の確保と集合方法、および役割分担。
- (3) 他のチームとの情報連絡、探鳥結果の集計と記録・書式。
- (4) 日頃から予定地域の自然環境や鳥相を体験しマスターする。
そして、なによりも
- (5) 募金に応じて頂けるスポンサーを、如何に沢山確保するか。
でしょう。

カワセミ会バードソンの本番では、幾つものチームが各々の担当エリアをフィールドにして探鳥し、各チームで確認した結果を総計した全鳥種数が募金の為の公式記録となります。すなわち、あるチームが、例えばスズメを確認できなくても、その他の何れかのチームが補えば種類数は減りません。しかし、油断は禁物で、いつもそこには必ずいると言ってよい鳥達を、その担当チームがたまたま見過ごしただけでも、全体では何種か減ってしまうこともあります。

さて、今回参加したことで僕は新しい発見をしました。それは、自然観察の奥深さに関わることです。かつて聴いたことのない鳴き声に興奮し、やっと見つけたその主は、人家の疎林上部に佇む1羽のイカルでした。またウグイスの笹鳴きと判じた、山の斜面の枯草を移動するのは、思いがけずもミソサザイだと粕谷会長にご教示いただき、ナルホドと新鮮な驚きを味わいました。きっとハヤブサ？と思われたが記録には載せなかった不明鳥、アオジかと確認したらビンズイで、わけもなく嬉しかった等・・・、じっくりBWの趣を満喫したことでした。 ■



鳥島のアホウドリ

今村 和子

1992、1993と続けて4月の初め鳥島のアホウドリをウォッチする機会を持ちました。小笠原でのクジラウォッチングの帰途、船が鳥島の周囲をめぐるしてくれたものです。船では、アホウドリの研究者によるレクチャーがありました。1993年には、17年間アホウドリの繁殖状況調査を続けている東邦大学の長谷川博先生が、数か月前から単身鳥島に住みこんでいて、アホウドリの営巣地から手を振るのを双眼鏡でのぞき、無線で対話をしながらのものでした。

人間によって絶滅に追いやられた動物のなかでも、アホウドリほど激しかった例はないのではないのでしょうか。鳥島に漂着したジョン万次郎は、「アホウドリが飛び立つと島の形が変わった。」と書き残しているほどだったと言います。明治以来、輸出用の羽毛を取るために撲殺され、1度は絶滅宣言が出されたものです。その生息が発見され報告されたのはいつごろだったのでしょうか。戦後あまり経っていなかったと思います。そのニュースに子供ながらにワクワクしたのを覚えています。

現在地球上で確認されている営巣地は、鳥島と尖閣諸島の2ヶ所だけで、鳥島でやっと500～550羽、尖閣で70～80羽ほどに増えたにすぎないそうです。その貴重な鳥島の営巣地が危機に瀕しています。御存じの様に鳥島は火山活動の危険がある為に測候所が放棄されました。野生化したネコも一掃され、何も恐れるものはないはずの島でアホウドリが巣を作っているのは、険しく切り立った崖の下、平均斜度30度で海へと崩れこんでいるわずかな土砂の上ただ一か所だけなのです。しかも、大雨、火山地震で大規模な土砂崩れが起きており、埋没の危険にさらされています。1993年にウォッチした時は、親鳥はすべて沖に出ていて、黒っぽい羽のヒナ達だけが斜面にしがみつく様にしていましたが、次の年には、白い羽の親鳥と一対でいるのが良く見えました。本当に、いつ海へ転げ落ちてでも不思議ではない様な、急で狭い斜面で、その上、崩れ落ちる土砂の流れが跡になっているのが良く分かります。本来アホウドリの島だったのに、人間がこんな条件の悪い所に追いつめてしまったといいます。ここだけが、人間やほかの動物から襲われる心配がないからです。

長谷川先生は、現在の営巣地を保護する為にススキを植えたり（土砂を止める）、土木工事を行ったりしてきました。しかし自然の動きを止めるのは難しく、より良い手だてとして、島のもっと条件のいい場所に新しいコロニ

一を作るようにアホウドリを誘導することに力を注いでいます。本物そっくりに作った模型を適地に設置し、あわせて求愛音声を録音して太陽電池を使ってながして、若いつがいを呼び寄せるデコイ作戦です。これまでの試みでは、かなりの手ごたえがあったようです。

ここで困難は例によって「資金」です。その為「アホウドリ基金」が発足しました。私も長谷川先生の情熱と、アホウドリへの愛をこめてささやかな協力をしました。

今年はバードソンなどいろいろ大変でしょうが、皆様のなかで地球最大の海鳥、アホウドリに、関心や興味のある方、「アホウドリ基金」について応援して頂ける方が御座いましたら私、今村まで御連絡下されば幸いです。

連絡先；今村 和子 (☎ 0425-83-4946)



鳥 一 話

小助川 千恵子

◇ 「鳥には便を溜めて置く直腸がないので歩きながらも便を出し、便が水っぽい。」

「空を飛ぶ生き物なので、体重を常に軽く保つ為に、便を体内に溜めて置かない。」

このことを、今年のお正月に六十二歳になるまで知りませんでした。カワセミ会の面々は驚く程の博識者揃いなので笑われてしまいますね。初笑い。

◇ うちのベランダに雉鳩の夫婦が巣を作ろうと狙っています。

夫婦で何度も下見に来る度に洗濯物にフンをします。

ベランダにキンキラ光る物をぶら下げて、追い払おうと思いました。

でも先日、クリスマスツリーの中に卵を生んだ雉鳩が、無事ヒナを孵したニュースをテレビで見て、キンキラキンは鳩避けにならない事を知りました。

観察したしフン怯しの会員。



'93年鳥バカの記録

大関 豊

'93年は酉年でした。昔、「足が不気味だから鳥はキライ」と言っていた酉年生まれの山形県の友人を思い出し、会いに行こうかなどと考えつつ始まった年でありました。以下は、年末に紅白を聞きながら整理した私の '93年の結果です。

1. 野鳥を見にでかけた日数。(年間 127日)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
7	10	8	15	19	14	3	9	13	14	12	3

2. 行った場所と回数。

八王子周辺 (91)	河川 (40)	浅川流域 (23) 多摩川流域 (17)
	公園 (11)	片倉城址 (10) 小宮公園 (1)
	山麓 (40)	高尾山 (5) 高尾周辺 (10) 小津・今熊 (8) 八王子城址 (13) 陣馬・影信山 (4)
関東 (29)	東京都 (10)	奥多摩湖 (1) 大岳山 (1) 六郷土手 (1) 六道山 (1) 野鳥公園 (2) 水元公園 (2) 葛西臨海公園 (1) 上野不忍池 (1)
	千葉県 (10)	谷津干潟 (4) 三番瀬 (3) 印旛沼 (1) 銚子 (2)
	埼玉県 (2)	狭山湖 (1) 吉見百穴 (1)
	栃木県 (3)	奥日光 (2) 渡良瀬遊水池 (1)
	神奈川県 (4)	相武台下 (2) 丹沢 (2)
近県 (16)	山梨県 (8)	藤野 (3) 四尾連湖 (1) 河口湖 (1) 三ツ峠 (1) 大菩薩 (1) 破魔射場丸 (1)
	長野県 (7)	穂高 (3) 戸隠 (1) 北アルプス燕岳 (1) 霧ヶ峰 (1) 入笠山 (1)
	福島県 (1)	安達太良山 (1)

3. 出会った鳥達。

野鳥 (182種) カゴ抜け (2種) 番外 (4種)、合計 (188種) でした。

感動！そして憤慨



清水 茂

紅葉があざやかな平成5年11月14日（日）、法事で信州の飯田に行った時のことです。

いつもの様に探鳥用具を手に朝6時、霧が立ちこめる天龍川にでかけた。堤防で聞こえてくる鳥の声はカラス、スズメ、モズ、ムクドリ、セグロセキレイ、キセキレイ、ヒヨドリ、トビ、やがて霧も晴れ鳥たちの姿が見える様になった。水管橋の上に2羽のトビ、岩の上にそして百メートル先の木の枝にもトビ、天龍川はトビが多い。やがて30~40羽の群れで激しく飛び回るチドリ、流れの穏やかな支流ではコガモ、カルガモが20羽位で朝の採餌をしていた。

竹やぶから崖の林に双眼鏡で追っていた時、紅、黄、緑とコントラストの林の木の奥に何か白い物体、もしやと、ときめく心をおさえながらスコープを覗いた瞬間「アッ、ヤマセミだー」と大きな声で叫んだ。あの逆立ったカンムリ、そして横縞模様。しばらく見つめていると枝からダイビングしたが失敗。2、3回の失敗で岩かげに消えて行った。あゝ感動の時でした。

ぼつぼつ朝食に帰ろうとした時、犬を連れた50代の男性、小鳥の事も仲々詳しい様子……。やがて此のカモ達ものんびりは今日限り、明日15日からは狩猟解禁、朝早く追われる命……。

この話を聞いた時、何と野蛮な、むごい。なぜ罪もない弱い小さな命を奪うのでしょうか。何とか禁漁区にならないものかと心を痛め、不愉快な思いで帰りました。

初体験

バンディングに参加して

平成5年の秋も深まった11月6日飯田市の天竜川阿島橋下流にて信州野鳥の会によるバンディング調査が行なわれるということで、兎に角初体験、参加してみることにした。

09:30分現場に着いてみると丁度環境庁の赤い腕章をつけた会員が霞網を張っているところで、広い河川敷のなかの草原に人が一人通れるくらいの幅のスペースで2~30畝位づつ切り開き、そこに一張り長さ10畝、高さ2畝位の霞網をそのスペースに合わせて此处は二枚とか此处は三枚とかであちこちに支柱で張るわけである。そして其処にカセットデッキで鳥の声を流して準備完了、あとは待機所に姿を隠して鳥がかかるのを待っているのだ。

調査員の経験からの勘で「一回りしてみましようか」ということで網を見て回るとなんと2羽、3羽とアオジ、ホオジロ、オオジュリン、ジョウビタキ、スズメなどがかかってもがいているではないか、さすが、こんな効力のある霞網が野放しの状態であれば、小鳥君達もたまったものではないなと思ひながら、網から外すのを手伝うがこれが又至難の技、ちっとやそっとで外れるものではない、手際よくはずして鳥を袋に入れていく調査員の見事な手捌きにあれよあれよと感服するばである。

そおして回収した鳥君達を一羽ずつ袋から出して種別、性別、成幼別に記録するのだが、さて、これもなかなかのこと、こうして手にとって見ると却って難しく、普段フィールドスコープで覗いて簡単に「なになにの雄だ、雌だ」と言っていたのが恥ずかしくなるくらい、環境庁の精密な凶鑑と首っ引きで撫でたり、吹いたり、広げたりして確信がもてるまで調べる姿勢には感心させられる。

記録がおわると決められたリングを足に巻いて放すのだが、この間の鳥君達のなんともいえぬ可愛さと、又逆の野性味、私には彼らが「こんなことして」と怒っているようには決してみえなかったのだ、運悪く変なものにひっかかって自由を奪われたのを暖かい人間の手に包まれて助けてもら

っているのだと信じ切っているような穏やかな目付きや、両手でつつんで頬摺りしてから放すとチチッと鳴いて近くの木に止まって暫らくこちらを見てから飛び立って行くところなどは本当に涙が出るほど可愛いし、手の指などが嘴に近づくと必ず力一杯突いたり、嘯み付いて放さなくて人間が悲鳴を上げるくらいの野性をあの小さな体に秘めているところなど改めて鳥君達に惚れなおしてしまうばかりだった。

それにしてもこうして思う存分鳥と接することの出来るバンディングは羨ましい限りで、資格をとるには一週間もの講習や結構厳しい試験などもあるとのことであるが、せめて会社を定年になった若さの頃？知っていたら挑戦したものをと悔やまれることしきりである。

こうした調査活動によって鳥達の棲息域や渡り等も含む動向が調べられひいては自然保護というところまでの広がりを齎らすことを信じて、私は今回の初体験を自分に大きく意義づけたいとおもっている。

09:30~11:30

現地での探鳥結果

標識放鳥した種と数

ホオジロ	4
アオジ	6
ジョウビタキ	1
オオジュリン	2
スズメ	1

5種 14羽

当日のバンディング担当

信州野鳥の会

柏木 隆宏氏

タゲリ

チュウサギ
オオタカ
チョウゲンボウ
トビ (約20羽のトビ様)
アオサギ
コサギ
ハシボソカラス
キジバト
ヒヨドリ
ムクドリ
モズ

ホオジロ

カシラダカ
オオジュリン
アオジ
ジョウビタキ
ウグイス
シジュウカラ
カワラヒワ
ハクセキレイ
キセキレイ
セグロセキレイ
スズメ

(24種)

尚、後日11/20発行の『はばたき』#120に依ると11月1、3、6、の3日間のバンディング調査によって3羽のツリスガラが標識放鳥されこれは長野県での初認となるであろうということで、あと4時間も粘っておれば、自分もその現場に居れたものをと悔やんでいるが、この鳥の越冬地が東に広がっていることは確実で、駒ヶ根の下平地区あたりにも居るのではおもえるので、楽しみに観察していきたい。

瑠璃鳴くや日の香もどりて裏高尾

山中の瑠璃るり色に翔ちにけり

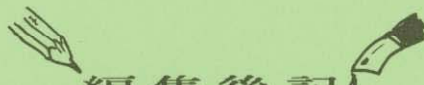
探鳥や余花白雲と湧き立ちて

老鶯や朝月白き燧岳

白馬岳しらうまは深雪のかなた鶯の笛

飯島洋子





編集後記

- ◆ 今号は、原稿の量が以外に多くなり製本の都合で一部記事を次号に回さざるを得なくなってしまった。残念ですが割愛をさせていただいた投稿者の方にお詫びする次第です。
- ♥ 今年の定時総会（1月9日）には40%近い会員の参加があり当会への関心の高まりを示されたものと大いに気を強くした。この勢いで今年度の事業、特にバードソンを全員参加で成功させたいと願っております。
- ♣ 過日、H市主催の親子自然観察会の探鳥会に当会有志で応援指導を行ったが、参加した子供達の元気で、自然への興味の強いことに感心した。特に自然環境を大切にするマナーを身につけていたのは、子供の教育に自然社会との触れ合いという場を設けることが大切なのではと感じた。
- ◆ 地球環境というグローバルな見地で人類が考え行動することの大切さを、日本人、特に永田町の間人達が繰り返している日々の行動をみていて、切ない思いを抱くのは筆者だけではない。

※↑8

業務用酒類食品専門卸

株式会社 **ジャックフル浦島屋**

〒192 八王子市元横山町 3-7-14

TEL (0426)25-1477(代表)

FAX (0426)25-1248



Hachiōji
Kawasemikai

カ　ワ　セ　ミ

1994年2月	— 第 12 号 —
発行人	粕谷和夫（八王子カワセミ会・会長）
編集人	三好恒雄
連絡先	八王子市中野上町5-29-3 TEL:0426-26-8634